FUJIFILM

DIGITAL CAMERA

FinePix A101

1.25 MEGA PIXELS

使用説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書には、フジフイルムデジタルカメラファインピックス **A101**の
使い方がまとめられています。内容をご理解の上、正しくご使用ください。

本製品の関連情報はホームページをご覧ください。 http://www.fujifilm.co.jp/ または http://www.finepix.com/

BL00034-100(1) J

目　次

4 応用編 再生

5 設定編

6 PC接続編

1
2
3
4
5
6

はじめに

▶ご使用の前に必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みください。

■撮影の前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。

＊本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録されたメモリーカード（スマートメディア）の転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分に注意してください。万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

●**皮膚に付着した場合：**
付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。

●**目に入った場合：**
きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。

●**飲み込んだ場合：**
水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の手当を受けてください。

■ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

●本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に準じた製品です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

●本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。
使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因となることがあります。

■製品の取り扱いについて

本製品は、精密な電子部品で構成されておりますので、画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■商標について

●iMac、Macintoshは、Apple Computer, Inc.の商標です。

●Windowsは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。

●SmartMediaは株式会社 東芝の商標です。

●その他の社名と商品名は各社の商標または登録商標です。

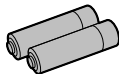
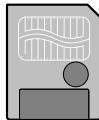
カメラの特長 / 付属品

カメラの特長

- 有効画素数125万画素
- 高解像度フジノンレンズによる高画質
- 記録画素数最大1280×960（123万）ピクセル
- コンパクト軽量ボディ
- 広範囲な撮影領域（マクロ撮影機能付き）
- シーン自動認識オートホワイトバランス＆AE搭載
- 高精度でワイドレンジな調光が可能なオートストロボ内蔵
- デジタル2倍ズーム撮影機能／最大4倍ズーム再生機能
- モードレバーと“ ◀▶ ”ボタン／“ ▲▼ ”ボタンによる簡単操作
- 動画撮影可能（320×240ピクセル、音声なし）
- USB接続により簡単・高速に画像ファイル転送が可能（付属のインターフェースセット使用）
- PCカメラ機能搭載
- 入手が容易な単3形乾電池2本駆動
- デジタルカメラの業界統一規格DCF*準拠

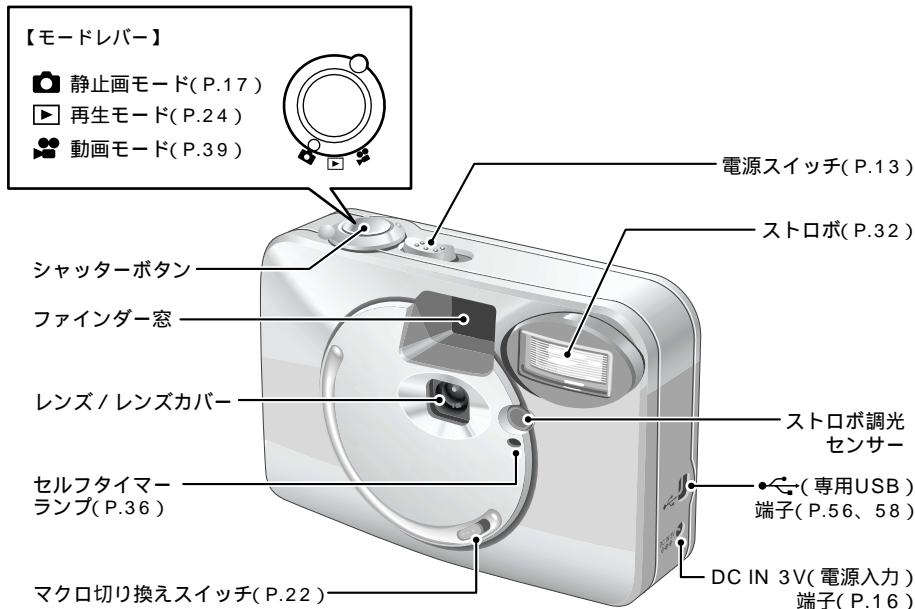
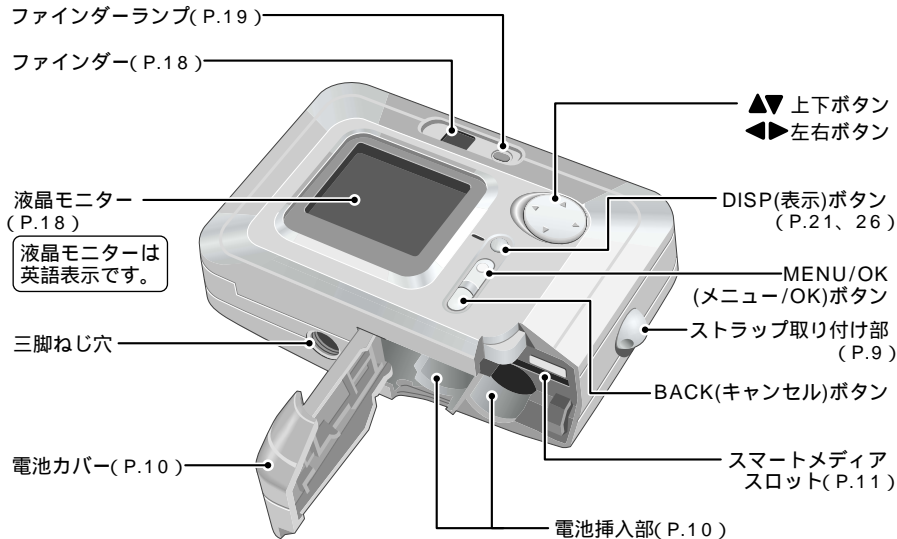
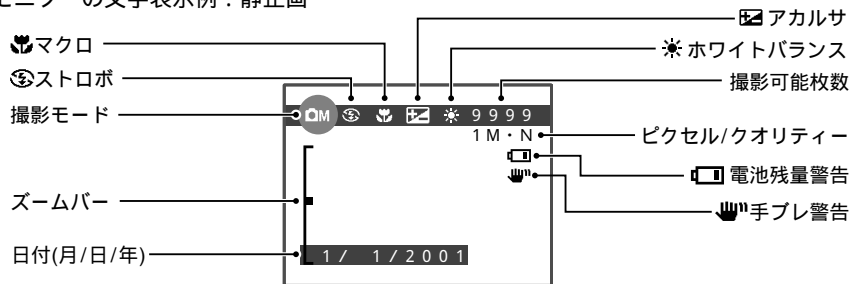
＊DCFは電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

付属品

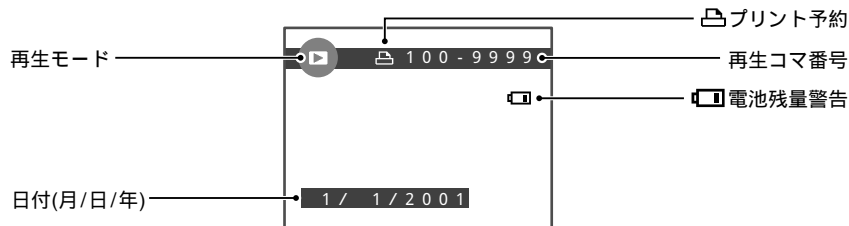
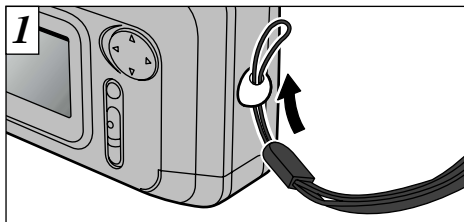
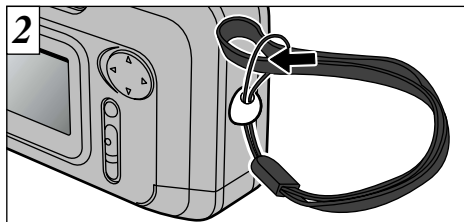
- **単3形アルカリ乾電池 LR6（2本）**

- **スマートメディア 8MB、3.3V（1枚）**
  - 付属品：静電気防止ケース（1個）
    インデックスラベル（1組）

- **ストラップ（1本）**

- **USBインターフェースセット（1式）**
  - CD-ROM：Software for FinePix（1枚）
  - 専用USBケーブル（1本）
  - ソフトウェア取扱ガイド（1部）
- **使用説明書（本書1部）**
- **安全上のご注意（1部）**
- **保証書（1部）**

各部の名称

＊（　）内のページに操作の説明があります。

❗表示言語（英語/フランス語）の切り換えについて、詳しくは50ページをご参照ください。

液晶モニターの文字表示例：静止画

液晶モニターの文字表示例：再生

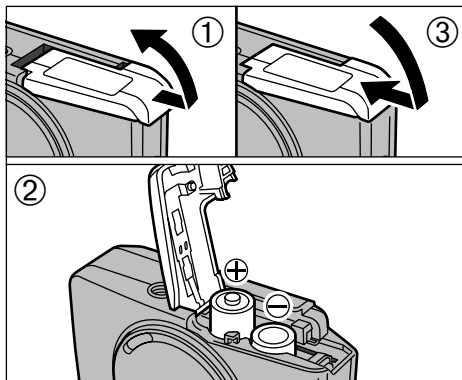
ストラップを取り付けます

ストラップの小さい方の輪を、ストラップ取り付け部に通します。

次に大きい方の輪の端を、小さい方の輪の中に通して引っ張ります。

電池を入れます

使用する電池

単3形アルカリ乾電池（2本）、または単3形ニッケル水素電池（2本）

◆電池について◆

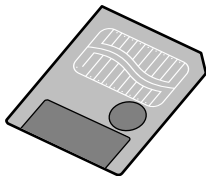
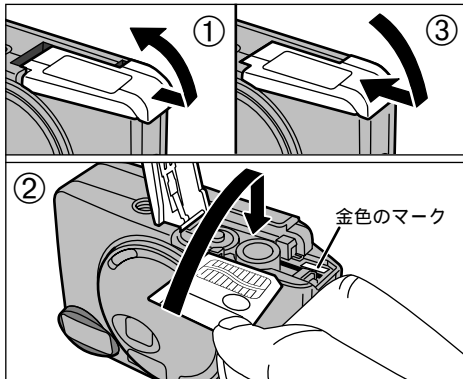
- 付属のアルカリ乾電池と同銘柄の使用をおすすめします。
- 種類の違う電池や、新しい電池と使用した電池を混ぜて使用しないでください。
- リチウム電池やマンガン乾電池、ニカド電池は使用できません。
- アルカリ乾電池は銘柄により寿命に差があり、付属のアルカリ乾電池に比べ、電池寿命が短い場合があります。また、アルカリ乾電池はその特性上、寒冷地（+10℃以下）では作動可能時間が極端に短くなるため、ニッケル水素電池の使用をおすすめします。
- 電池の電極に皮脂などの汚れがあると、電池作動可能時間が極端に短くなることがあります。
- ニッケル水素電池の充電には、別売の充電器（➡63ページ）が必要です。
- 電池についてのご注意は66ページをご参照ください。

①電池カバーをスライドさせて開けます。
②電池を表示に従って正しく入れます。
③電池カバーを閉めます。

- ❗電池カバーに無理な力を加えないでください。
- ❗電池カバーを開閉するときは、電池を落とさないように注意してください。
- ❗撮影の際は予備として、アルカリ乾電池または充電済みのニッケル水素電池（別売）のご用意をおすすめします。

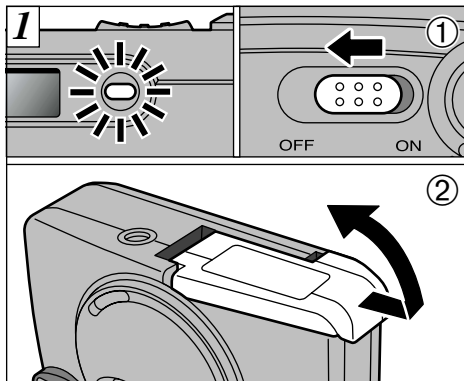
スマートメディア™を入れます

スマートメディア™（別売）

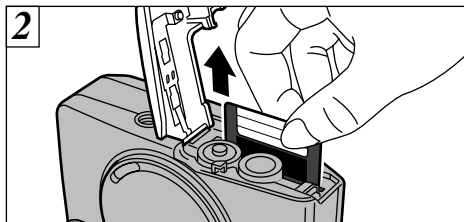
スマートメディアは必ず3.3V仕様をお使いください。

- MG-4SB(4MB)
- MG-8SB(8MB)
- MG-16SB(16MB)
- MG-32SB(32MB)
- MG-16SW(16MB:ID付き)
- MG-32SW(32MB:ID付き)
- MG-64SW(64MB:ID付き)
- MG-128SW(128MB:ID付き)

- ライトプロテクトシールがはられていると、記録、消去ができません(➡45ページ)。
- 本カメラでの動作保証は弊社製スマートメディアのみとなります。
- 3.3V仕様品の中には「3V」または「ID」という表示のものがあります。
- スマートメディアについてのご注意は69ページをご参照ください。

①電源が切れていることを確認します。電池カバーを上面にし、スライドさせて開けます。
②スマートメディアスロットの金色のマークと、スマートメディアの金色の接触面を同じ向きに合わせて、奥まで確実に差し込みます。
③電池カバーを閉めます。

- 電源が入った状態で電池カバーを開けると、スマートメディア保護のため電源が切れます。
- スマートメディアの向きが間違っていると奥まで入りません。また、無理な力を加えないでください。

1

スマートメディア™を取り出します

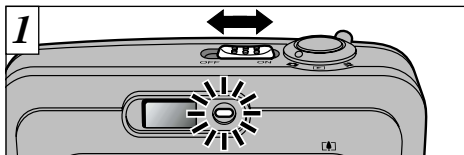
①ファインダーランプが緑色に点灯していることを確認し、電源を切ります。
②必ず電池カバーを上面にして、スライドさせて開きます。

電池カバーは、絶対に電源を入れたまま開けないでください。スマートメディア、または画像ファイルが破壊されることがあります。

電池を落とさないように気をつけて、スマートメディアをつまんで取り出します。

スマートメディアを保管するときは、必ず専用の静電気防止ケースに入れてください。

◆画像のプリントとパソコンへの取り込みについて◆

- プリントするときは、46、62ページをご参照ください。
- パソコンに画像を取り込むには、55〜61ページをご参照ください。

電源のON/OFF

電源をON（入）/OFF（切）するには、電源スイッチをスライドします。電源を入れるとファインダーランプ（緑）が点灯します。日付がクリアされている場合は、確認画面が表示されます。

OK：日付設定画面になります（➡15ページ）。
BACK：静止画、動画または再生モードになります。

! 日付を設定しないと電源を入れるたびに確認画面が表示されます。

! 電源を入れるとレンズカバーが開きますので、レンズ部に触れないでください。

電源を入れ電池容量表示を液晶モニターで確認します。

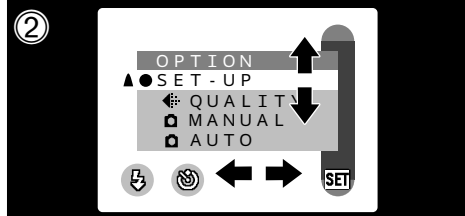
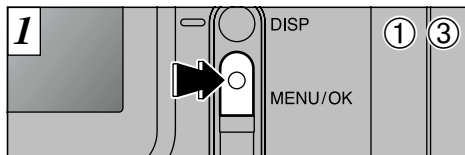
①電池の容量は十分です（表示なし）。
②電池の容量が少なくなっています。新しい電池を準備してください。
③電池の容量がありません。ただちに表示が消えて動作を終了します。電池を交換してください。

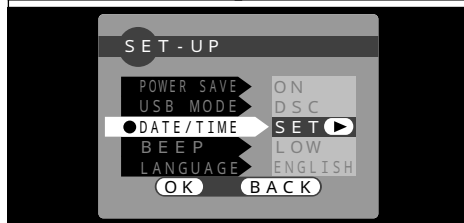
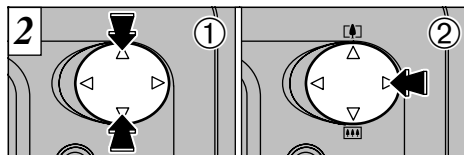
! 電池が消耗している場合、液晶モニターをONにできないことがあります。

◆パワーセーブ機能◆

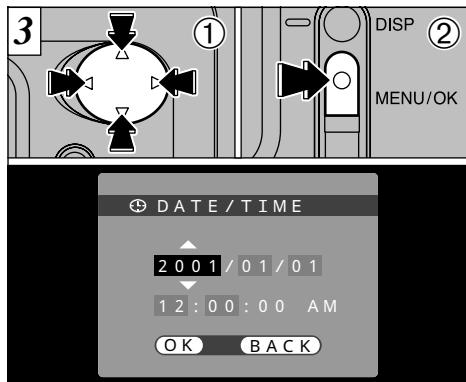
2分間操作しないと電源が自動的に切れます。機能有効時は、約30秒間操作をしないと液晶モニターを消し、消費電力を抑えます（➡54ページ）。

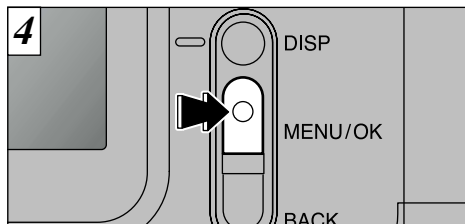
1

日時を合わせます

①“ MENU/OK ”ボタンを押してメニューを表示します。
②“ ◀▶ ”で“ SET ”を選び、“ ▲▼ ”で“ SET－UP ”を選びます。
③“ MENU/OK ”ボタンを押します。

日付がクリアされていて“ OK ”を選んだ場合は、3から操作します(➡15ページ)。

①SET－UP(セットアップ)画面が表示されます。“ ▲▼ ”で“ DATE/TIME ”(日時設定)を選びます。
②“ ▶ ”を押します。

“ SET OPTION ”(各種設定)について、詳しくは50ページをご参照ください。

設定した日時は、ACパワーアダプターを接続または電池を入れて10分以上経過していれば、カメラから両方とも取り外しても、約12時間保持されます。

①“ ◀▶ ”で合わせたい項目（年・月・日・時・分）を選び、“ ▲▼ ”で修正します。
②“ MENU/OK ”ボタンを押して設定します。

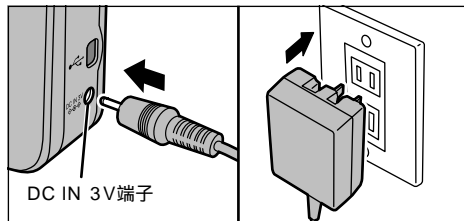
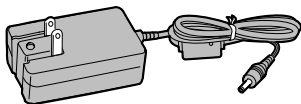
- “ ▲ ”または“ ▼ ”を押し続けると数字が連続して変わります。
- 時刻表示で“ 12:00:00 ”を越えると、自動的にAM/PMが切り換わります。
- 秒は設定できませんが、時刻を正確に合わせたいときは、時報のゼロ秒時に“ MENU/OK ”ボタンを押します。

SET－UP画面に戻りますので、“ MENU/OK ”ボタンを押して、設定を終了します。

日付がクリアされていて“ OK ”を選んだ場合、SET－UP画面に戻らず静止画または再生モードになります。

1

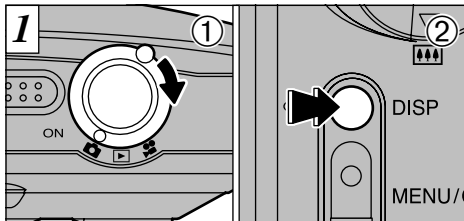
別売のACパワーアダプターを使う

ACパワーアダプター（別売）

必ず、弊社製「ACパワーアダプター AC-3V」をお使いください（➡63ページ）。
ファイル転送中（USB接続）など、電源が切れては困るときに使用します。また、電池の消耗を気にせず撮影・再生することができます。

カメラの電源が切れていることを確認します。ACパワーアダプターの接続プラグを“DC IN 3V”端子に差し込み、次に電源コンセントに差し込みます。

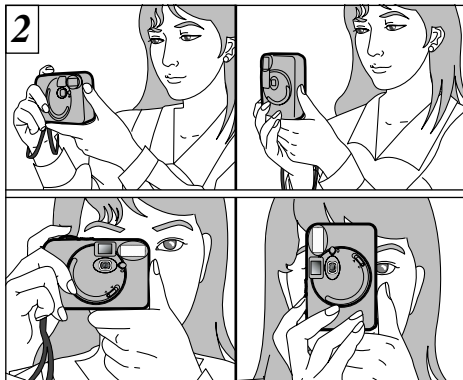
- ACパワーアダプターについてのご注意は68ページをご参照ください。
- ACパワーアダプターの接続および取り外しは、カメラの電源が切れているときに行ってください。
  カメラの電源が一時的に切れるため、撮影中の画像、動画は記録されません。また、スマートメディアの破損やパソコン接続時誤動作の原因になります。

ACパワーアダプターを接続しても、ニッケル水素電池の充電はできません。ニッケル水素電池の充電には別売の充電器（➡63ページ）が必要です。

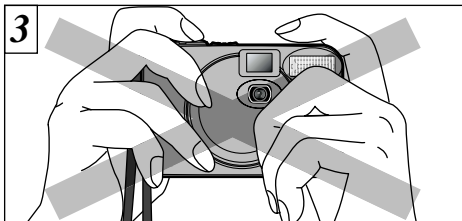
静止画モード 撮影してみましょう（オート撮影）

①モードレバーを“ ”に合わせます。
②液晶モニターを使って撮影する場合は、“ DISP ”ボタンを押して、液晶モニターをONにします。

●撮影可能距離：約80cm〜無限遠

電源ON直後は、液晶モニターはOFFになっています。

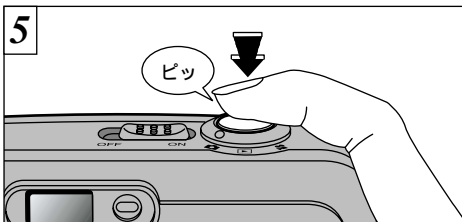
! “ (! CARD ERROR) ” “ (! WRITE ERROR) ”
“ (! READ ERROR) ” “ (! CARD NOT INITIALIZED) ”が表示された場合は、まずスマートメディアの接触面（金色の部分）を乾いた柔らかい布などでよくふいてから、再度セットしてください。

ストラップに手首を通し、両脇を締め、両手でカメラを構えます。

! 近距離撮影ではマクロに設定してください（➡22ページ）。
! 消費電力を抑えるにはファインダー撮影（液晶モニターOFF）をおすすめします。
! 撮影するときカメラが動くと、画像がブレる原因になります。特に、暗い場所で撮影する場合は手ブレ防止のためストロボ撮影（➡32ページ）を行うか、三脚の使用をおすすめします。

撮影してみましょう（オート撮影）

レンズやストロボ、ストロボ調光センサーに指やストラップが掛からないようにしてください。

液晶モニターまたはファインダーを使って、被写体をねらいます。

- 指やストラップが掛かると、適正な明るさ（露出）で撮影ができないことがあります。
- レンズが汚れていないか確認してください。汚れている場合は65ページを参照してレンズをきれいにしてください。

- 撮影範囲を正確に合わせたい場合は、液晶モニターを使った撮影をおすすめします。
- 明るい屋外や薄暗いシーンなどでは、液晶モニターで被写体が確認しにくいことがあります。その場合、ファインダーの使用をおすすめします。

シャッターボタンを押すと、“ ピッ ”と音が鳴り撮影されます。続いて画像が記録されます。

- シャッターボタンを押した瞬間から、一瞬遅れて撮影されます。
- ストロボ充電中はファインダーランプが橙色に点滅します。液晶モニターがONの場合は一瞬黒い画面になる場合がありますが、異常ではありません。
- 電池の残容量が少ない場合、ストロボ充電時間が長くなることがあります。
- 被写体（画像の細かさなど）によって記録されるファイル量が一定ではないため、撮影可能枚数が減らないかまたは2コマ減る場合があります。
- 警告表示については、71、72ページをご参照ください。

■ファインダーランプ表示について

色	状 態	内　　容
緑	点 灯	準備完了
橙	点 灯	スマートメディアに記録中
	点 滅	ストロボ充電中
赤	点 滅	●**スマートメディアについての警告** 未挿入、未フォーマット、フォーマット異常、ライトプロテクトシールがはられている、空き容量がない、スマートメディア異常 ＊液晶モニターONでは、液晶モニターに詳しい警告が表示されます（➡71、72ページ）。

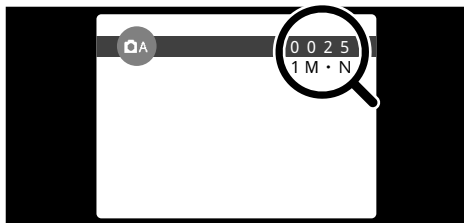
画像記録中はファインダーランプが橙色に点灯し、撮影することはできません。また、画像記録中は電源を切ったり、電池カバーを開けないでください。ファイルが破壊されることがあります。

2

撮影してみましょう（オート撮影）

撮影可能枚数について

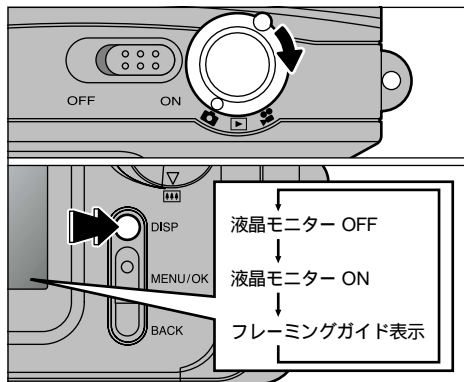
液晶モニターに撮影可能枚数が表示されます。

- ピクセル（画像サイズ）/クオリティー（圧縮率）の変更は、52ページをご参照ください。
- 工場出荷時設定は、1M（ピクセル）、N（クオリティー：NORMAL）です。

■スマートメディアTM標準撮影枚数

〔撮影枚数は被写体により多少の増減があります。また、撮影枚数はスマートメディアの容量が大きくなるほど、標準枚数との差が大きくなる場合があります。〕

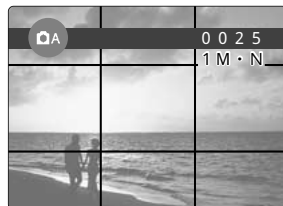
ピクセル（記録画素数）	1M 1280×960（123万）			VGA 640×480（30.7万）
クオリティー	FINE	NORMAL	BASIC	NORMAL
画像1枚のファイルサイズ	約620KB	約320KB	約170KB	約130KB
MG-4S（4MB）	6	12	23	30
MG-8S（8MB）	12	25	46	61
MG-16S（16MB）	25	49	89	122
MG-32S（32MB）	50	99	180	247
MG-64S（64MB）	101	198	361	497
MG-128S（128MB）	204	398	725	997

＊スマートメディアをフォーマットした状態の撮影可能枚数です。

ベストフレーミング機能

“ 📷 ”静止画モードで設定できます。
“ DISP ”ボタンを押すごとに液晶モニターの表示が切り換わります。“ DISP ”ボタンを押して“ フレーミングガイド ”を表示します。

❗フレーミングガイドは画像に記録されません。
❗縦横3分割フレームのラインは、縦横の記録画素数の3分割の目安です。プリントすると3分割の位置から少しずれる場合もあります。

縦横3分割フレーム

主要な被写体を縦横の交点に配置したり、横のラインに地平線や水平線を合わせて使用します。被写体の大きさやバランスを見ながら、意図的な構図で撮影できます。

マクロ（近距離）

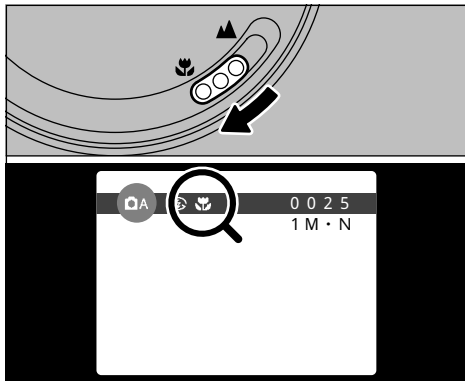
マクロを設定すると近距離撮影ができます。
また、ストロボが“ AUTO ”または“ 赤目軽減 ”のときは自動的に“ 発光禁止 ”に設定されます。

●撮影可能距離：約8cm〜約13cm

! カメラの横幅（約10cm）を目安に、被写体との距離を必ず約8cm〜約13cmにしてください。撮影範囲外ではピントが合いません。

! ストロボを発光させる場合はメニューを表示して、“ 強制発光 ”または“ S スローシンクロ ”に設定してください（33〜34ページ）。ただし、適正な明るさ（露出）で撮影できない場合があります。

! 暗い場所で撮影する場合は、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。

マクロでファインダーを使うと、ファインダー窓とレンズの位置が違うため、実際に見える範囲と写る範囲にズレが生じます。そのため、液晶モニターを使った撮影をおすすめします。

マクロに切り換えるには、マクロ切り換えスイッチを止まる位置までスライドします。

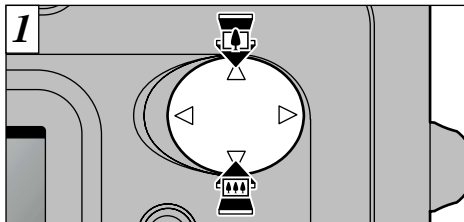
“ ”側：液晶モニターに“ ”が表示され、近距離撮影ができます。

“ ”側：マクロが解除され、通常の撮影ができます（➡17ページ）。

! 液晶モニターが自動的にONになります。

! 液晶モニターをOFFにすることはできません。

! マクロを解除しても液晶モニターはONの状態のままです。

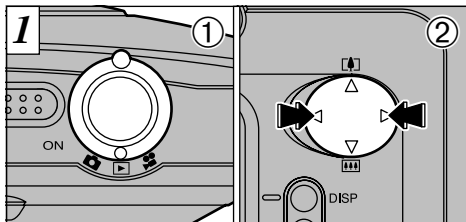
デジタルズーム

ピクセル（画像サイズ）設定が“ VGA ”ではデジタルズームができます。ただし、液晶モニターを使用した撮影でのみ有効です。
被写体を大きく写したいときは、“ ▲ ”（[♠]望遠）を押します。広い範囲を写したいときは、“ ▼ ”（[♠♠♠]広角）を押します。

液晶モニターには“ ズームバー ”が表示されます。

●デジタルズーム焦点距離（35mmカメラ換算）
約36mm〜約72mm相当
最大ズーム倍率　2倍

2

❗“ 1M ”ではデジタルズームはできません。
❗ピクセル（画像サイズ）設定の変更について、詳しくは52ページをご参照ください。

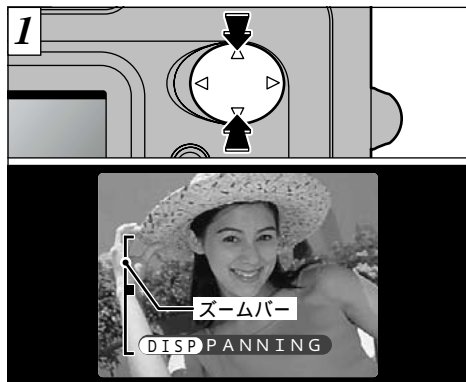
▶ 画像を見るには(再生)

①モードレバーを“ ▶ ”に合わせます。
②“ ▶ ”順送り、“ ◀ ”逆送りで画像を見ることができます。

❗モードレバーを“ ▶ ”に合わせたときは、最後に撮影した画像が再生されます。

プリント予約した場合、“ 🖶 ”が表示されます。また、“ DISP ”ボタンを押すたびに液晶モニターの表示が切り換わります。

❗液晶モニターの明るさの調節について、詳しくは51、53ページをご参照ください。

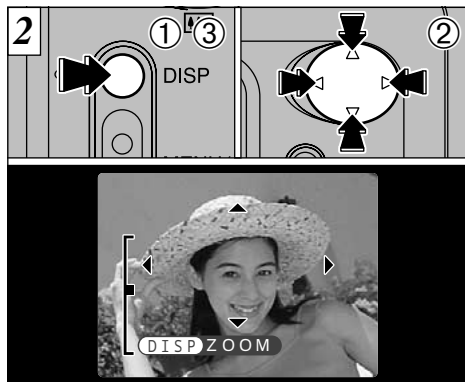
◆再生できる静止画について◆

本機で記録した静止画、または弊社製デジタルカメラ FinePixシリーズ、CLIP-IT80/50、DS-30/20/10およびDS-260HD/250HD/230HD、あるいはそのほかのDCF対応カメラで、3.3V仕様のスマートメディアに記録した静止画(非圧縮を除く)が再生できます。

再生ズーム

1コマ再生中に“ ▲▼ ”を押すと、静止画をズームします。このとき“ ズームバー ”が表示されます。

●ズーム倍率

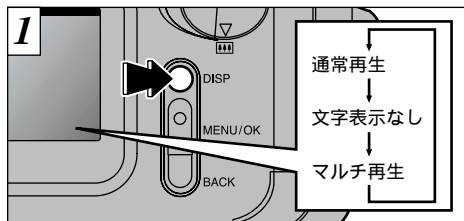
1M　1280×960ピクセル画像：最大4倍
VGA　640×480ピクセル画像：最大2倍

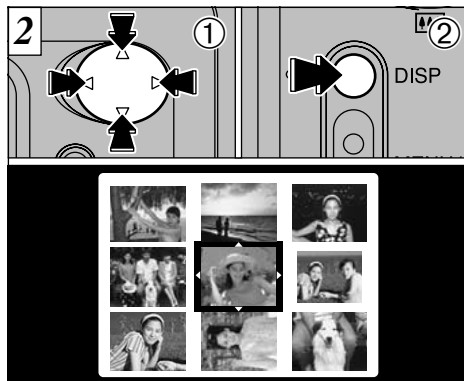
! ズーム中に“ ◀▶ ”を押すと、ズームが解除され次の画像に送られます。

ズームしたあとに、
①“ DISP ”ボタンを押します。
②“ ▲▼◀▶ ”を押すと見える範囲を移動できます。
③もう一度“ DISP ”ボタンを押すとズームに戻ります。

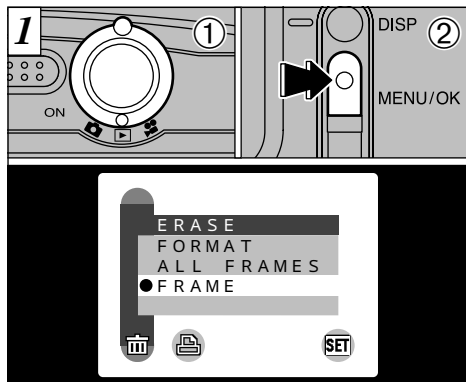
! 他機種で撮影された画像は、再生ズームできないことがあります。

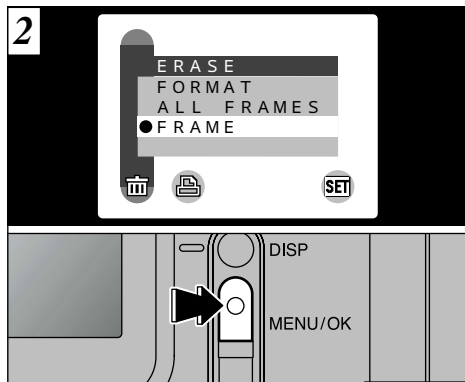
! “ BACK ”ボタンを押すと画像が等倍に戻ります。

撮影後のピント確認などに便利です。

2

マルチ再生

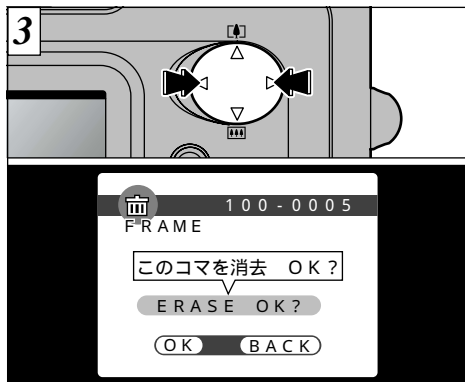
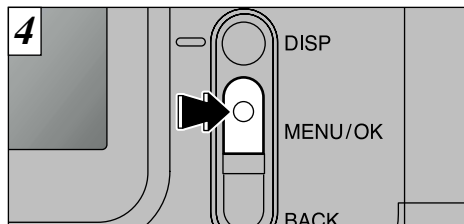
再生中に“ DISP ”ボタンを押すと液晶モニターの表示が切り換わります。“ DISP ”ボタンを数回押してマルチ再生（9コマ）にします。
マルチ再生中は文字表示されません。

①“ ▲▼◀▶ ”でカーソル（橙色の枠）を動かして、コマを選べます。数回“ ▲ ”か“ ▼ ”を押すと次のページに切り換わります。
②“ DISP ”ボタンを押すと、選択中の画像が大きく表示されます。

! メニューを表示中はマルチ再生できません。
! 再生ズーム中はマルチ再生できません。

画像を消すには（1コマ消去）

①モードレバーを“ ▶ ”に合わせます。
②“ MENU/OK ”ボタンを押すとメニューが表示されます。

“ 🗑ERASE ”（消去）の“ FRAME ”（1コマ）を選んだ状態で“ MENU/OK ”ボタンを押します。

2

❗“ 🗑ERASE ”（消去）のメニューについて、詳しくは44ページをご参照ください。

画像を消すには（1コマ消去）

“ ◀▶ ”を押して消去したい画像を表示します。

“ MENU/OK ”ボタンを押すと、表示している画像が消去されます。消去が終わると次の画像が再生され、“ ERASE OK? ”（このコマを消去OK？）が表示されます。

❗ 1コマ消去をやめたい場合は、“ BACK ”ボタンを押してください。

❗ プリント予約されたファイルは“ ! DPOF ”が表示され消去できません（➡72ページ）。

❗“ ! PROTECTED FRAME ”が表示された場合、消去できません。プロテクトしたカメラでプロテクトを解除してください。

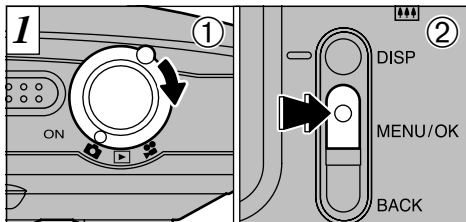
消去を続けるには、3からの操作を繰り返します。

応用編 撮影では

応用編 撮影では、モードレバーを" 📷 "または" 🎥 "に合わせた状態で行えるいろいろな機能をご紹介します。

■撮影モードメニュー一覧

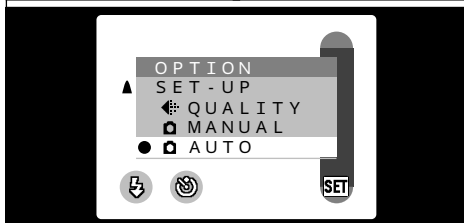
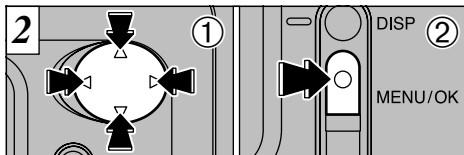
<table>
<tr><th>モードレバー</th><th>撮影モード</th><th>設定可能撮影メニュー</th><th>工場出荷時</th><th>共通メニュー</th></tr>
<tr><td rowspan="2">静止画モード</td><td>A オート
(➡30ページ)
もっとも簡単に撮影ができる用途の広い撮影モードです。</td><td>ストロボ(➡32ページ)
セルフタイマー(➡35ページ)</td><td>AUTO
OFF</td><td rowspan="3">SET 各種設定
※各種設定について詳しくは50ページ参照。</td></tr>
<tr><td>M マニュアル
(➡30ページ)
" アカルサ・ホワイトバランス "を設定できる撮影モードです。</td><td>ストロボ(➡32ページ)
アカルサ(露出補正)(➡37ページ)
WB ホワイトバランス(光源選択)
(➡38ページ)</td><td>AUTO
0
AUTO</td></tr>
<tr><td>動画モード</td><td>動画
(➡39ページ)
一回あたり、最長20秒の動画撮影モードです。</td><td>—</td><td>—</td></tr>
</table>

静止画モード ◘A オート/◘M マニュアルの切り換え

①モードレバーを“ ◘ ”に合わせます。
②“ MENU/OK ”ボタンを押して、メニューを表示します。

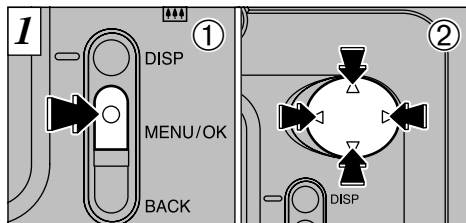
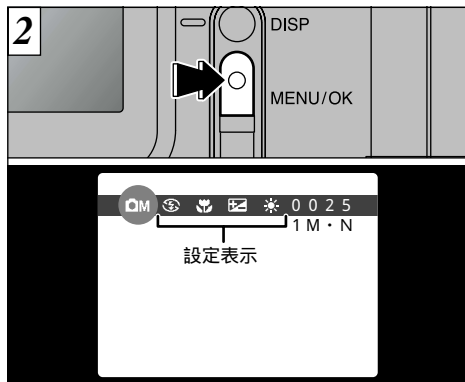
◘A オート

最も簡単に撮影できる用途の広い撮影モードです。

◘M マニュアル

“ アカルサ・ホワイトバランス ”を設定できる撮影モードです。

①“ ▲▼◀▶ ”で“ SET OPTION ”(各種設定)から“ ◘ AUTO ”(オート)か“ ◘ MANUAL ”(マニュアル)を選びます。
②“ MENU/OK ”ボタンを押して決定します。

❗“ QUALITY ”(ピクセル/クオリティー)、“ SET–UP ”、“ LCD BRIGHTNESS ”(モニター明るさ)について、詳しくは50〜53ページをご参照ください。

撮影メニュー 撮影メニューの操作

①“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。
②“◀▶”でメニューを選びます。“▲▼”で設定を変更します。

“MENU/OK”ボタンを押して決定します。
設定を有効にすると画面上部にアイコンが表示されます。

! 撮影モードにより設定可能メニューは変わります。詳しくは29ページをご参照ください。

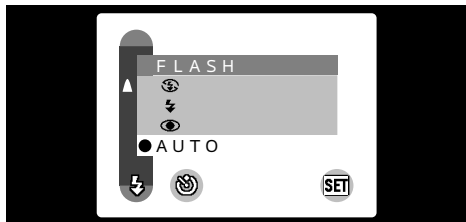
撮影メニュー ⚡ ストロボ

“ 📷A・📷M ”の撮影モードで設定できます。
撮影の目的に合わせてストロボ（FLASH）を使用します。

- “ AUTO・👁・⚡・🚫・S⚡ ”の5種
- ストロボ撮影可能距離（📷Aオート時）：
  約0.8m〜約3m

❗ストロボ撮影をした場合、充電するために映像が消えて黒い画面になることがあります。このときファインダーランプが橙色に点滅します。

❗電池の残容量が少ない場合、ストロボ充電時間が長くなることがあります。

❗ちりやほこりの多い環境でストロボ撮影すると、ストロボの反射で画像に白点が写ることがあります。

AUTO オートストロボ

一般的な撮影に使用します。撮影状況に応じて、ストロボが自動的に発光します。

❗マクロ（近距離）撮影では設定できません。

◐ 赤目軽減ストロボ

暗いところでひとみを自然に撮りたいときに使用します。撮影状況に応じて、ストロボが自動的に発光します。
撮影前にストロボがプレ発光し、次に撮影のためのストロボが発光します。

ϟ 強制発光ストロボ

窓際や木陰などの逆光撮影、蛍光灯などの照明の下で適正な色に撮りたいときに使用します。明るいところでもストロボ撮影が行われます。

3

! マクロ（近距離）撮影では設定できません。

◆赤目現象について◆

人物を暗いところでストロボ撮影した場合、目が赤く写ることがあります。これは、ストロボの光が目の中で反射することにより起こる現象です。赤目を起こりにくくするために、赤目軽減ストロボを積極的にご利用ください。赤目軽減ストロボを使用するとともに、

●撮られる人にカメラの方に視線を向けてもらう　●なるべく近づいて撮影する

などするとより効果的です。

ストロボ発光禁止

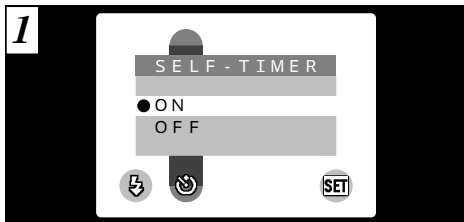
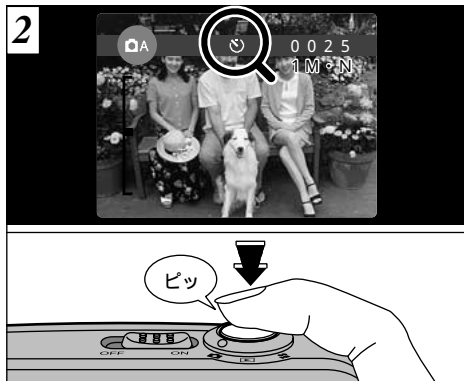
室内照明を利用しての撮影、ガラス越しの撮影、舞台や室内競技などのストロボ光が届かない距離での撮影などに使用します。
この場合、オートホワイトバランス(➡78ページ)が働き、周囲光の雰囲気を残しつつ自然な色に撮影できます。

Sϟ スローシンクロ

スローシャッターでストロボ発光します。夜景と人物をきれいに撮影できます。

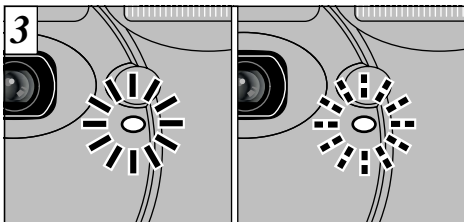
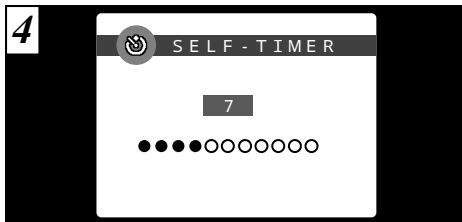
! 暗い場所でストロボ発光禁止で撮影する場合は、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。
! 手ブレ警告については72ページをご参照ください。

! 明るい撮影シーンでは露出オーバーになることがあります。
! スローシャッターになりますので、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。

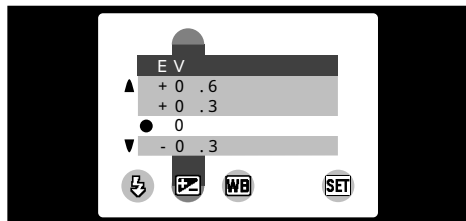
撮影メニュー ⏲ セルフタイマー

“ 📷A ”の撮影モードで設定できます。
約10秒間のセルフタイマー（SELF−TIMER）撮影です。撮影者自身を撮影する場合などに使用します。

液晶モニターまたはファインダーで被写体をねらい構図を決めます。シャッターボタンを押すとセルフタイマーが開始されます。

! セルフタイマーは、次のときに自動的に解除されます。
- ●撮影したとき
- ●撮影モード“ 📷A ”から他のモードへ切り換えたとき
- ●電源が切れたとき

! レンズの前に立ってシャッターボタンを押さないでください。適正な明るさ（露出）にならないことがあります。

3

セルフタイマーランプが約5秒間点灯したのち点滅に変わり、さらに約5秒後に撮影されます。

撮影されるまでの間、液晶モニターにカウントダウン表示されます。
セルフタイマーは撮影ごとに自動的に解除されます。

❗開始したセルフタイマー撮影は、“ BACK ”ボタンを押すと解除できます。

撮影メニュー ± アカルサ（露出補正）

“ M ”の撮影モードで設定できます。
被写体と背景のコントラスト（明暗の差）がきわめて大きい場合など、適正な明るさ（EV：露出）が得られないときに使用します。

●補正範囲：11段階
（−1.5EV～＋1.5EV、約0.3EVステップ）
EVについては78ページをご参照ください。

◆次のような被写体のとき効果があります◆

＋（プラス）補正の目安

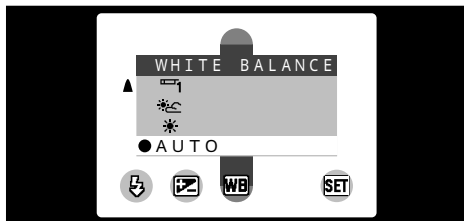
- 白っぽい紙に黒い文字の印刷物の複写
  ：＋1.5EV
- 逆光の人物撮影：＋0.6EV～＋1.5EV
- スキー場などの明るい場面や反射の強い場合：＋0.9EV
- 液晶モニター内を空の部分が大きく占める場合：＋0.9EV

−（マイナス）補正の目安

- スポットライトを浴びた人物、特にバックが暗い場合：−0.6EV
- 黒っぽい紙に白い文字の印刷物の複写
  ：−0.6EV
- 常緑樹または色の濃い葉など反射率が低い場合：−0.6EV

3

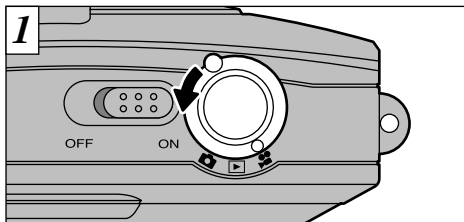
! 次のような状態では、無効になります。
- オートまたは赤目軽減でストロボが発光したとき
- 強制発光で撮影シーンが暗いとき

撮影メニュー WB ホワイトバランス（光源選択）

“ ◘M ”の撮影モードで設定できます。
AUTO時は、人物の顔アップなどの被写体や特殊な光源下では、正しいホワイトバランス（WHITE BALANCE）が得られない場合があります。撮影時の環境・照明光に合わせ、ホワイトバランスを固定して撮影を行いたい場合に設定を変更します。
ホワイトバランスについては78ページをご参照ください。

AUTO ：自動調整
（光源の雰囲気を残した撮影）
☀ ：晴れた屋外での撮影
日陰 ：日陰での撮影
蛍光灯1 ：昼光色蛍光灯下での撮影
蛍光灯2 ：昼白色蛍光灯下での撮影
蛍光灯3 ：白色蛍光灯下での撮影
電球 ：電球、白熱灯下での撮影

＊ストロボ発光時は、ホワイトバランス設定は無効になりますので、意図した撮影の場合、ストロボを発光禁止（➡34ページ）にしてください。

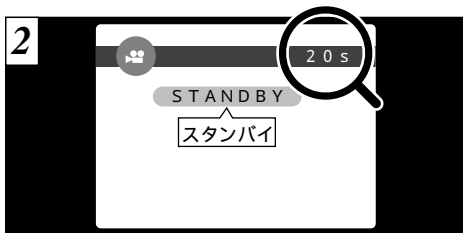
🎥 動画

モードレバーを"🎥"に合わせます。

液晶モニターに撮影可能時間と"STANDBY"(スタンバイ)が表示されます。

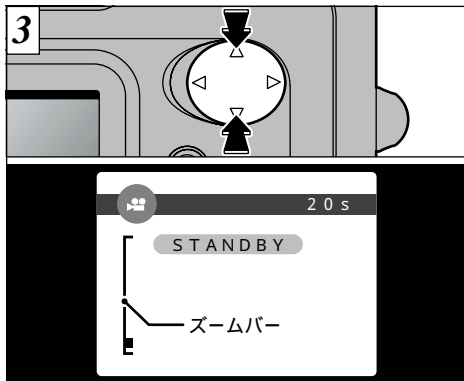
🎥 動画

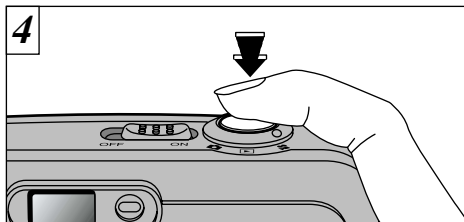
一回、最長20秒間の動画撮影モードです。

●撮影形式：Motion JPEG 形式(➡78ページ)
320×240ピクセル
10フレーム/秒
音声なし

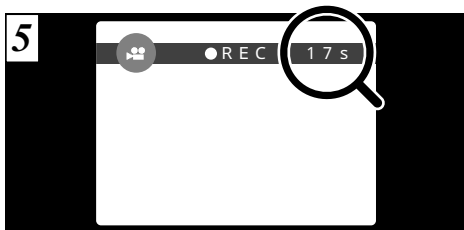
- 近距離撮影ではマクロに設定してください(➡22ページ)。
- スマートメディアの空き容量によっては、一回の撮影時間が20秒より短くなることがあります。
- 液晶モニターをOFFにすることはできません。
- 本機以外のカメラでは再生できない場合があります。

■スマートメディア標準撮影可能時間

スマートメディア容量	撮影可能時間
MG-4S(4MB)	約23秒
MG-8S(8MB)	約47秒
MG-16S(16MB)	約94秒
MG-32S(32MB)	約191秒
MG-64S(64MB)	約385秒
MG-128S(128MB)	約774秒

＊スマートメディアをフォーマットした状態の撮影可能時間です。

“ ▲▼ ”でズームできます。液晶モニターに“ ズームバー ”が表示されます。

●デジタルズーム焦点距離（35mmカメラ換算）
約36mm～約72mm相当
最大ズーム倍率　2倍

シャッターボタンを押すと撮影が開始されます。

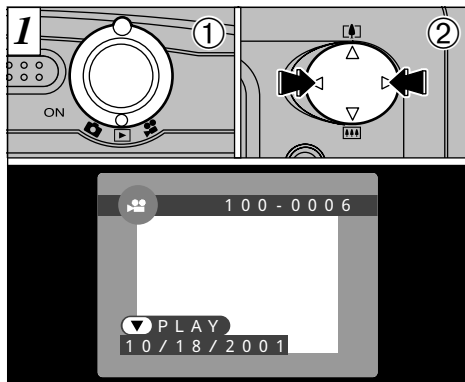
- シャッターボタンを押した瞬間から、一瞬遅れて撮影が開始されます。
- シャッターボタンを押し続ける必要はありません。
- 撮影中はホワイトバランスは固定ですが、露出はシーンに応じて自動的に変化します。

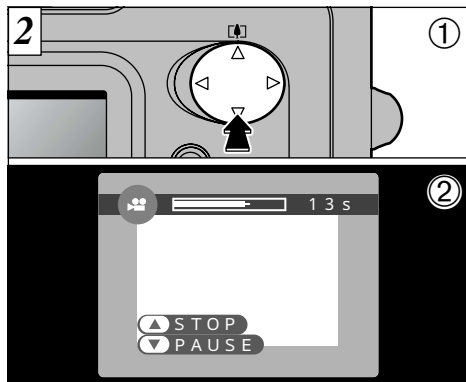
ホワイトバランスはシャッターボタンを押すと、自動的に設定されます。

撮影中は液晶モニターに“ ●REC ”が表示され、右上に残り時間をカウントダウン表示します。

撮影中にもう一度シャッターボタンを押すと撮影を終了し、スマートメディアへ記録します。

❗残り時間がなくなると自動的に録画が終了し、スマートメディアに記録されます。

❗約20秒の動画（約3MB）のスマートメディアへの記録時間は、約3秒です。

❗撮影開始後すぐに終了しても、約3秒間だけ撮影されます。

動画再生

①モードレバーを“ ▶ ”に合わせます。
②“ ◀▶ ”で動画ファイルを選びます。

①“ ▼ ”を押すと再生されます。
②液晶モニターに再生時間とバーが表示されます。

❗マルチ再生では動画再生はできません。
“ DISP ”ボタンで通常再生にしてください。

静止画に比べ、ひと回り小さく表示されます。

❗高輝度の被写体を撮影した場合、再生時に縦に白いスジが入ることがありますが故障ではありません。

■動画再生操作方法

	操　作	説　明
再生		再生が終わると自動的に停止します。
一時停止/解除		再生中に操作すると一時停止します。 一時停止中に操作すると一時停止を解除します。
停止		再生を停止します。 ※停止中に“ ◀▶ ”を押すと、次のファイルに送られます。
早送り/巻き戻し		再生中に操作すると“ ▶ ”早送り/“ ◀ ”巻き戻しします。
コマ送り	一時停止中	●一時停止中に“ ◀ ”または“ ▶ ”を押すたびに1コマずつ送られます。 ●押し続けるとコマ送りが速くなります。

◆再生できる動画ファイルについて◆

本機で記録した動画ファイル、または弊社製デジタルカメラで3.3V仕様のスマートメディアに記録した20秒以内の動画ファイルが再生できます。ただし音声の再生はできません。
記録時間が20秒を超える動画ファイルは“ ! READ ERROR ”表示し、再生することはできません。

再生メニュー 🗑 消去 1コマ・全コマ/フォーマット

1コマ消去（FRAME）

選んだファイルだけを消去します。

❗"（! PROTECTED FRAME）"が表示されるファイルは消去できません。プロテクトしたカメラでプロテクトを解除してください。

❗プリント予約されたファイルは"（! DPOF）"が表示され消去できません（➡72ページ）。

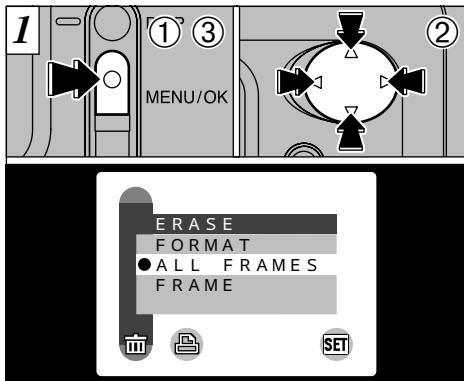
全コマ消去（ALL FRAMES）

プロテクトまたは、プリント予約されたファイル以外をすべて消去します。消去したくないファイルはパソコンなどにコピーしてください。

フォーマット（FORMAT）

すべてのファイルを消去します。プロテクトまたは、プリント予約されたファイルもすべて消去しますので、フォーマットする場合は十分にご注意ください。消去したくないファイルはパソコンなどにコピーしてください。

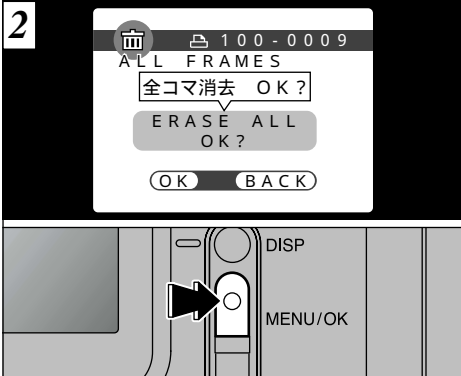
❗プロテクトしたファイルも消えます。

❗"（! CARD ERROR）""（! WRITE ERROR）""（! READ ERROR）""（! CARD NOT INITIALIZED）"が表示された場合は、71、72ページをご覧ください。

①" MENU/OK "ボタンを押してメニューを表示します。

②" ◀▶ "で" 🗑ERASE "（消去）を選び、" ▲▼ "で" FRAME "（1コマ）か" ALL FRAMES "（全コマ）か" FORMAT "（フォーマット）を選びます。

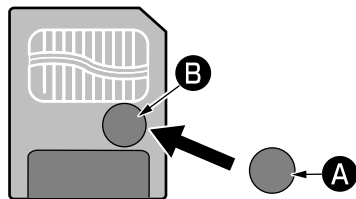
③" MENU/OK "ボタンを押します。

❗メニューを終了するには" BACK "ボタンを押してください。

フォーマットするとすべて消去されます。

実行を確認する画面が表示されます。
“ FRAME ”(1コマ) ではファイルを“ ◀▶ ”で選んでから、“ MENU/OK ”ボタンを押します。
“ ALL FRAMES ”(全コマ) が“ FORMAT ”(フォーマット) を実行するには、“ MENU/OK ”ボタンを押します。

! やめる場合は“ BACK ”ボタンを押してください。

スマートメディア™の誤記録防止について

ライトプロテクトシールをはると、画像の記録/消去・フォーマットができません。シールをはがすと通常どおり使用できます。ライトプロテクトシールは、別売のスマートメディアに同梱されています。

＊必ず専用のライトプロテクトシール❹を、ライトプロテクトエリア内❺に、はみ出さないようにしっかりとはってください。はがしたシールの再利用はできません。
＊シールの端で手を切らないようにご注意ください。
＊シールが汚れていると、誤記録防止されないことがあります。
＊スマートメディアについて、詳しくは69ページをご参照ください。

4

再生メニュー 凸 プリント予約（DPOF）について

DPOF（ディーポフ）とはDigital Print Order Format（デジタルプリントオーダーフォーマット）のことで、デジタルカメラで撮影した画像の中から、プリントしたいコマやその枚数などの指定情報をスマートメディア™などに記録するときの形式です。

デジタルカメラ

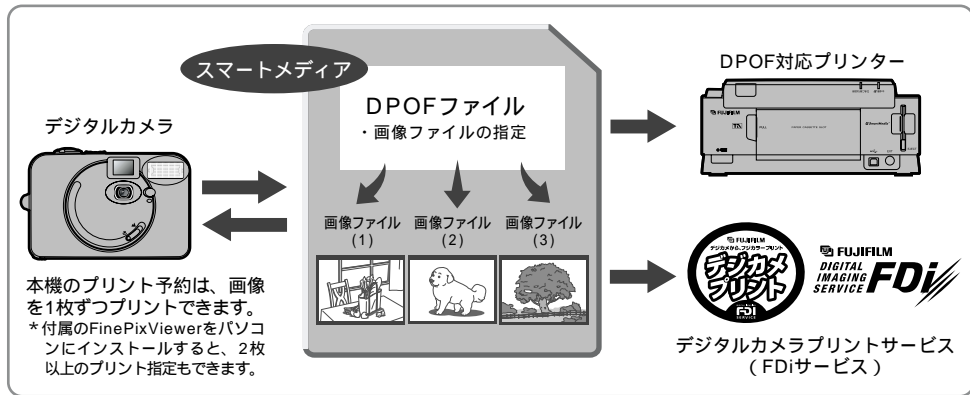
スマートメディア

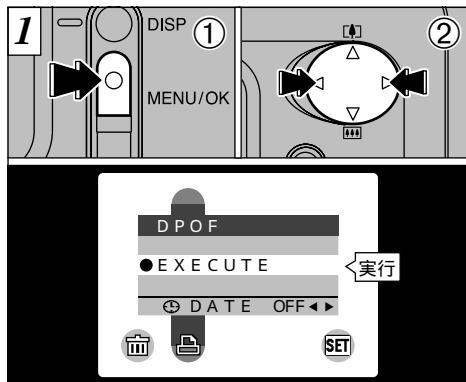
DPOFファイル
・画像ファイルの指定

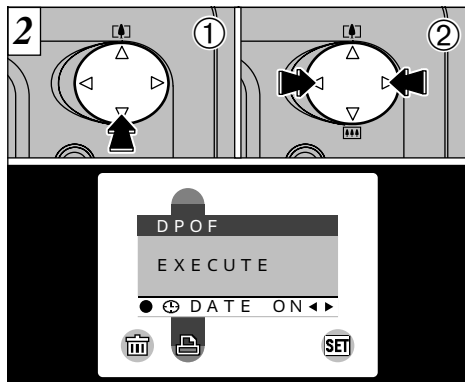
画像ファイル（1） **画像ファイル（2）** **画像ファイル（3）**

DPOF対応プリンター

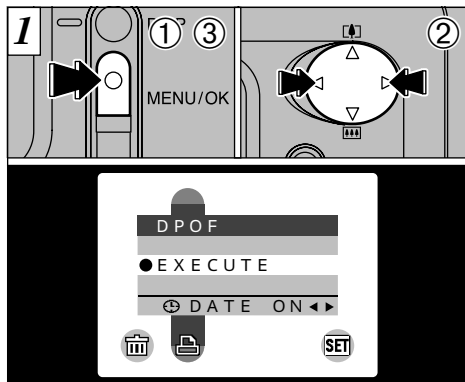
デジタルカメラプリントサービス（FDiサービス）

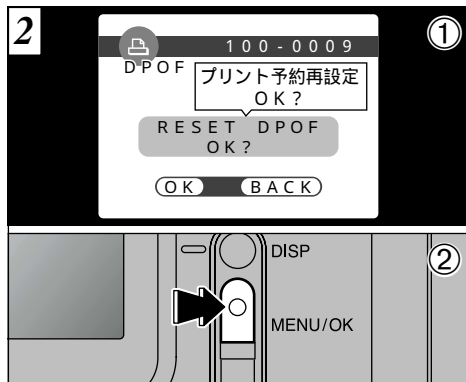
本機のプリント予約は、画像を1枚ずつプリントできます。
＊付属のFinePixViewerをパソコンにインストールすると、2枚以上のプリント指定もできます。

- DPOF対応デジタルカメラ（本機）では上記の情報をカメラの操作でスマートメディア™に記録することができます。
- DPOF情報を記録したスマートメディア™を、フジフイルム デジタルカメラプリントサービス（FDiサービス）取り扱い店にお持ちいただくだけで、指定情報どおりの高画質プリントサービスが受けられます。
- DPOF対応プリンターでは、DPOF情報があれば、指定コマ（画像ファイル）を指定枚数だけ自動的にプリントできます。

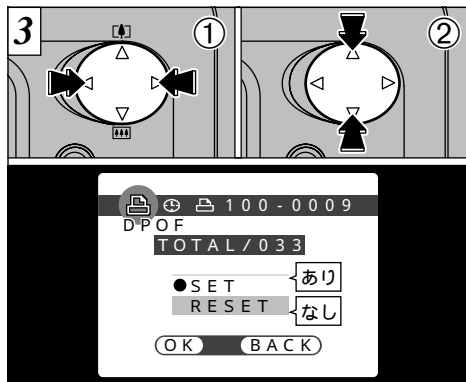
再生メニュー 凸 プリント予約 日付設定

プリントに撮影した日付を入れるか入れないかを選べる機能です。
①“ MENU/OK ”ボタンを押してメニューを表示します。
②“ ◀▶ ”を押して“ 凸DPOF ”(プリント予約)を選びます。

❗動画ファイル選択時は、プリント予約メニューは表示されません。
❗他のカメラで撮影した静止画は、プリント予約できないことがあります。

①“ ▼ ”で“ DATE ”(日付)を選びます。
②“ ◀▶ ”を押すと“ DATE ON ”(日付あり)か“ DATE OFF ”(日付なし)が設定できます。その後、電源を切るまでプリント予約するすべてのコマに有効です。続いてプリント予約を設定します(➡48ページ)。

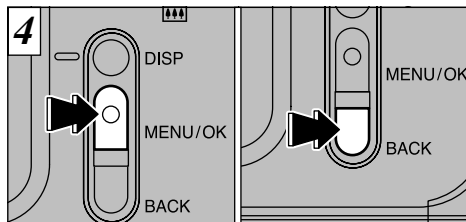
❗プリント予約する前に必ず日付あり/なしを設定してください。

再生メニュー 🖨 プリント予約

１つのコマ（画像）につき、１枚だけプリント予約ができます。
①“ MENU/OK ”ボタンを押してメニューを表示します。
②“ ◀▶ ”で“ 🖨DPOF ”(プリント予約）を選びます。
③“ EXECUTE ”(実行）が選ばれた状態で、“ MENU/OK ”ボタンを押します。

❗動画ファイル選択時は、プリント予約メニューは表示されません。
❗１つのコマに2枚以上プリント指定できません。

①すでにプリント予約されたコマがある場合は“ RESET DPOF OK？ ”（プリント予約再設定OK？）と表示されます。
②“ MENU/OK ”ボタンを押すとすでにプリント予約された設定はすべて消去されます。新たにプリント予約をやり直す必要があります。

❗“ BACK ”ボタンを押すと、設定を変更しません。
❗前回の設定は再生時に確認できます（➡24ページ）。

①"◀▶"で設定するコマを表示します。
②プリントするコマに"▲▼"で"SET"(あり)を選びます。
日付設定ありの場合は"⊕"が表示されます。

❗動画はプリント予約できません。
❗"⊕"は通常再生時に表示されませんのでご注意ください。
❗"TOTAL"(トータル)はプリント指定したコマ数の合計です。

続けて設定するには、①②の操作を繰り返してください。

設定が終了したら、必ず"MENU/OK"ボタンを押して決定してください。
"BACK"ボタンを押すと、プリント予約されません。

❗指定できるプリント枚数は1コマにつき1枚です。また、同一スマートメディア内でプリント指定できるコマ数は999コマまでです。

"MENU/OK"ボタンを押すとすべてが決定されます。途中から設定し直すことはできません。

4

各種設定編では

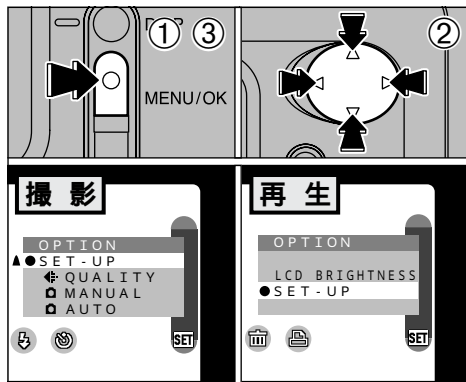
設定編では、静止画・動画・再生モードのメニュー“ OPTION ”(各種設定)で行える機能をご紹介します。

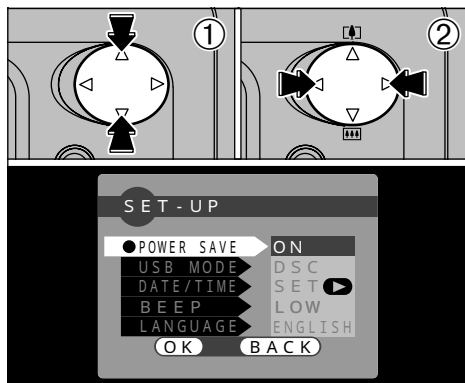
■各種設定(OPTION)一覧

静止画モード	動画モード	再生モード
A AUTO(オート)	—	—
M MANUAL(マニュアル)	—	—
QUALITY(ピクセル/クオリティー)(➡52ページ)	—	—
SET—UP	SET—UP	SET—UP
LCD BRIGHTNESS(モニター明るさ)(➡53ページ)	LCD BRIGHTNESS(モニター明るさ)(➡53ページ)	LCD BRIGHTNESS(モニター明るさ)(➡53ページ)

■SET—UPメニュー一覧

項　目	表　示	工場出荷時	内　容
POWER SAVE (パワーセーブ)	ON/OFF	ON	何も操作していないときに消費電力を抑え、その後、自動的に電源を切って電池消耗を防ぐ機能です。詳しくは54ページをご参照ください。
USB MODE (USB設定)	DSC/ PC CAM	DSC	詳しくは55ページをご参照ください。
DATE/TIME (日時設定)	SET	—	日付、時刻を設定できます。詳しくは14ページをご参照ください。
BEEP♪ (ビープ)	LOW/HIGH/OFF	LOW	操作したときの“ ピッ ”の音量を切り換えます。
LANGUAGE (表示言語の切り換え)	ENGLISH/ FRANÇAIS	ENGLISH	画面表示を英語か仏語に切り換えます。 ＊本書では英語の画面で説明しています。

各種設定メニューの操作

①" MENU/OK "ボタンを押してメニューを表示します。
②" ◀▶ "で" OPTION "(各種設定) を選び、" ▲▼ "で項目を選びます。
③" MENU/OK "ボタンを押して各設定に移行します。

SET−UPの操作

" SET−UP "を選んだ場合、SET−UP画面が表示されます。
①" ▲▼ "で項目を選びます。
②" ◀▶ "で設定を変更します。" MENU/OK "ボタンを押して設定を終了します。

5

❗" DATE/TIME "(日時設定) は" ▶ "を押します。

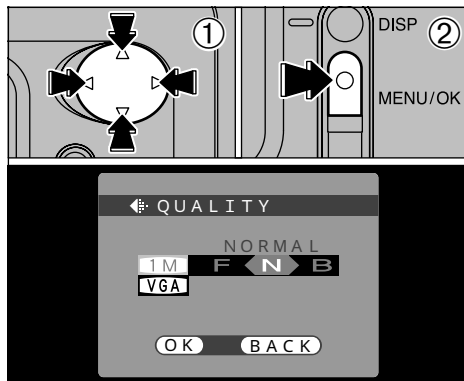
SET ピクセル（画像サイズ）/クオリティー（圧縮率）

2種類のピクセルと、3種類のクオリティーの組み合わせを選べます。下記の表を目安にお試しいただき、目的に応じた設定をしてください。

画像サイズ	FINE	NORMAL	BASIC
1M（1280×960）	❶	❶	❷
VGA（640×480）	ー	❷	ー

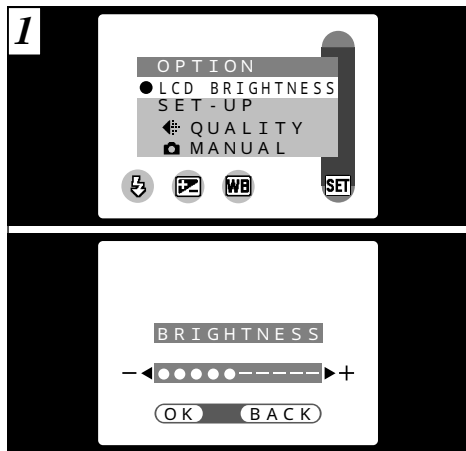
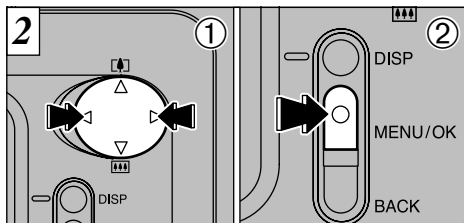
❶：A6サイズ程度でプリントする場合
❷：Eメールの画像添付用などインターネットで使用する場合

クオリティー（圧縮率）について

画質を優先する場合は“ FINE ”を、枚数を優先する場合は“ BASIC ”を選んでください。
通常は、“ NORMAL ”で十分な画質が得られます。

①“ ▲▼ ”でピクセル設定を変更し、“ ◀▶ ”でクオリティー設定を変更します。
②“ MENU/OK ”ボタンを押して決定します。

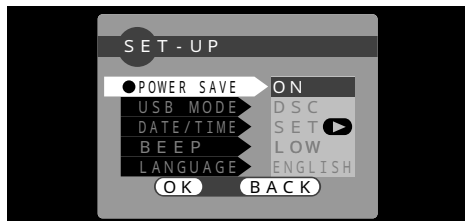
❗ピクセルとクオリティーの組み合わせで撮影可能枚数が変わります（➡20ページ）。

❗設定を変更しない場合は“ BACK ”ボタンを押してください。

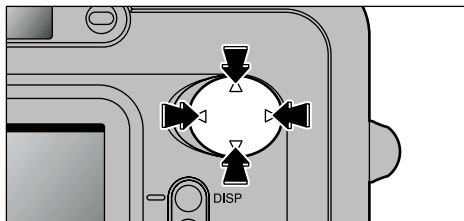
SET モニター明るさ

“ LCD BRIGHTNESS ”(モニター明るさ)のメニューを実行すると、液晶モニターに“ 調節バー ”が表示されます。

①“ ◀▶ ”で液晶モニターの明るさを調節します。
②“ MENU/OK ”ボタンを押して決定します。

設定を変更しない場合は“ BACK ”ボタンを押してください。

5

SET−UP パワーセーブ

●" POWER SAVE "(パワーセーブ)" ON "
できるだけ消費電力を少なくし、電池の消耗を抑えます。アルカリ乾電池で使用するときはONにすることをおすすめします。工場出荷時は、" ON "に設定してあります。

- 約30秒間操作しないと一時的に液晶モニターを消し、消費電力を抑えます(スリープ)。
  (ファインダーランプ[緑]は点灯)
- スリープ後、約90秒間操作しないと自動的に電源が切れます(オートパワーオフ)。
  (ファインダーランプ[緑]は消灯)
- ストロボの充電電力を抑えるため充電時間が多少長くなります。

●" POWER SAVE "(パワーセーブ)" OFF "
スリープなどの電力を抑えることを行いませんので電池が消耗しやすくなります。ただし、約2分間操作しないと自動的に電源が切れます(オートパワーオフ)。

スリープから撮影可能に復帰するには、" ▲▼◀▶ "を押します。電源をON/OFFするよりも素早く撮影可能になるので便利です。また、スリープ中にシャッターを切っても撮影可能です。

! USB接続時はパワーセーブ/オートパワーオフしません。

! " ▲▼◀▶ "以外のボタンでも復帰できます。

液晶モニターOFF、再生モード、SET−UP、ピクセル設定時はスリープは機能しませんが、約2分間操作しないと自動的に電源が切れます。

PC（パソコン）接続編では

PC接続編では、USB接続で利用できる機能の概要と接続方法を説明します。あわせて別冊のソフトウェア取扱ガイドをご覧ください。

カメラをパソコンに初めて接続する際は

接続する前に、ソフトウェアをすべてインストールしておく必要があります。
あわせてソフトウェア取扱ガイドをご覧ください。

CD-ROM
「Software for FinePix」

ソフトウェア取扱ガイド

カードリーダー機能（DSC）について

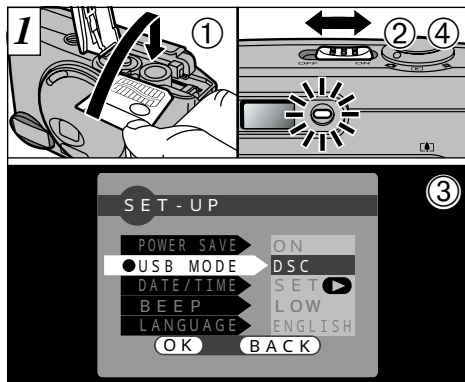
スマートメディアから簡単に画像の読み出し、書き込みができます。USBインターフェース接続により、高速にファイル転送が行えます（➡56ページ）。

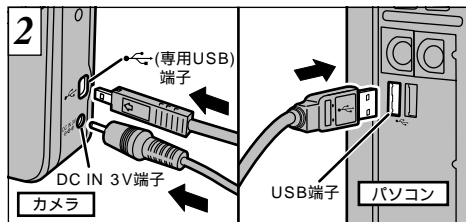
PCカメラ機能（PC CAM）について

インターネット接続されたパソコン同士でテレビ電話（“PictureHello”）が楽しめます。また、動画をパソコンで記録できます（➡58ページ）。

! テレビ電話（“PictureHello”）はMacintoshに対応していません。

! Mac OS X（Classic環境を含む）では、PCカメラ機能を利用できません。Mac OS 8.6〜9.2をご使用ください。

カードリーダー接続方法

①撮影したスマートメディアをカメラにセットします。
②電源スイッチをスライドさせ、電源を入れます。
③SET−UPの“ USB MODE ”(USB設定)を“ DSC ”(カードリーダー)にします(➡50、51ページ)。
④電源スイッチをスライドさせ電源を切ります。

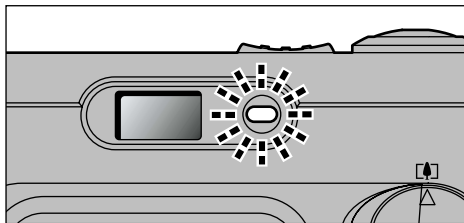
ACパワーアダプター(別売)を使った接続をおすすめします(➡16、63ページ)。データ通信中に電源が切れると、正常なデータの転送ができません。

①パソコンの電源を入れます。
②専用USBケーブルでカメラとパソコンを接続します。
③カメラの電源を入れます。

Windowsパソコンをお使いの場合、インストールが完了していると、ドライバの設定が自動的に行われますので、そのままお待ちください。
＊パソコンがカメラを認識しない場合は、ソフトウェア取扱ガイドをご参照ください。

カメラを取り外すとき、電源を切るときは、必ず所定の手順で行ってください(➡60ページ)。

Windows XPおよびMac OS Xでは、初回接続時に自動起動の設定が必要です(➡別冊のソフトウェア取扱ガイド)。

専用USBケーブルは向きに気をつけて、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。

カメラの動作

- カメラとパソコンが通信中のときは、ファインダーランプが緑/橙に交互点滅します。
- 液晶モニターには“ DSC ”(カードリーダー)と表示されます。
- USB接続時はパワーセーブ/オートパワーオフしません。

! スマートメディアの交換は、必ず60ページの手順でカメラとパソコンの接続を切ったあとに、行ってください。

! 通信中はUSBケーブルを取り外さないでください。取り外しかたについては、60ページをご参照ください。

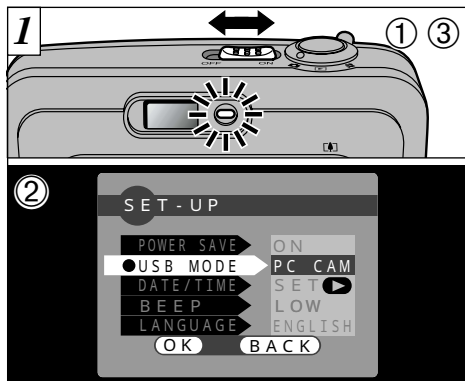
パソコンの動作

- FinePixViewerが自動的に起動します。

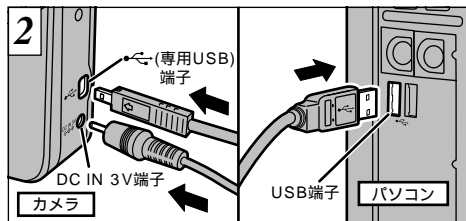
＊Windows 98SEの画面です。

- リムーバブルアイコンが表示され、パソコンでファイルの読み出し、書き込みができます。

上記の動作が確認できない場合、必要なソフトウェアがうまくインストールできていません。別冊のソフトウェア取扱ガイドを参照して、パソコンでの準備を完了してから、もう一度接続してください。

PCカメラ接続方法

①電源スイッチをスライドさせ、電源を入れます。
②SET−UPの“ USB MODE ”(USB設定)を“ PC CAM ”(PCカメラ)にします(➡50、51ページ)。
③電源スイッチをスライドさせ､電源を切ります。

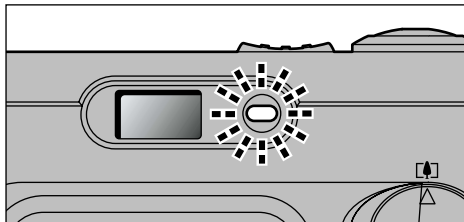
ACパワーアダプター(別売)を使った接続をおすすめします(➡16、63ページ)。データ通信中に電源が切れると、正常なデータの転送ができません。

近距離撮影では、マクロに設定してください(➡22ページ)。ただし、“ ”は表示されません。

①パソコンの電源を入れます。
②専用USBケーブルでカメラとパソコンを接続します。
③カメラの電源を入れます。

Windowsパソコンをお使いの場合、インストールが完了していると、次のように動作します。
Windows 98/98SE/Me/2000：
ドライバの設定が自動的に行われますので、そのままお待ちください。
Windows XP：
確認画面が表示されますので､「続行」ボタンをクリックします。
＊パソコンがカメラを認識しない場合は、ソフトウェア取扱ガイドをご参照ください。

カメラを取り外すとき、電源を切るときは、必ず所定の手順で行ってください(➡60ページ)。

専用USBケーブルは向きに気をつけて、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。

カメラの動作

- **カメラとパソコンが通信中のときは、ファインダーランプが緑/橙に交互点滅します。**
- **液晶モニターには“ PC　CAM ”(PCカメラ)と表示されます。**
- **USB接続時はパワーセーブ/オートパワーオフしません。**

❗通信中はUSBケーブルを取り外さないでください。取り外しかたについては、60ページをご参照ください。

パソコンの動作

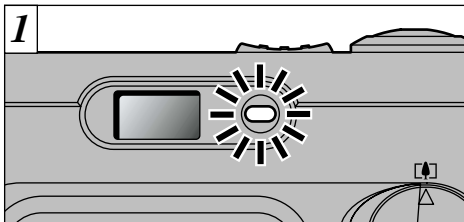
- **FinePixViewerが自動的に起動し、Picture Helloが開きます(Windowsのみ)。**

＊Windows 98SEの画面です。

- **VideoImpressionなどでライブ画像を見ることができます。**

＊Macintoshの画面です。

上記の動作が確認できない場合、必要なソフトウェアがうまくインストールできていません。別冊のソフトウェア取扱ガイドを参照して、パソコンでの準備を完了してから、もう一度接続してください。

パソコンと接続を切るには（必ず行ってください）

①カメラを利用しているアプリケーション（FinePixViewer、VideoImpressionなど）を、すべて終了します。
②ファインダーランプが緑色に点灯していること（パソコンと通信していないこと）を確認します。

カードリーダー接続の場合は、2に進みます。
PCカメラ接続の場合は、3に進みます。

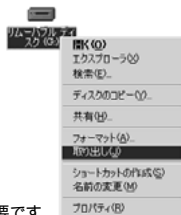
❗パソコンで“ コピー中 ”の表示が消えても、カメラと通信中の場合があります。必ずカメラのファインダーランプが緑色に点灯していることを確認してください。

2 カメラの電源を切る前の作業を行います。この手順は、ご使用のOS（パソコン）によって違います。

Windows 98/98SE

パソコンでの操作は必要ありません。

Windows Me/2000 Professional/XP

❶マイコンピュータの中の“ リムーバブルディスク ”アイコンを右クリックし、取り出しをクリックします。

＊この操作はWindows Meのみ必要です。

❷タスクバー上の取り外しアイコンを左クリックします。

＊Windows Meの画面です。

❸下図のメニューが表示されますので、もう一度クリックします。

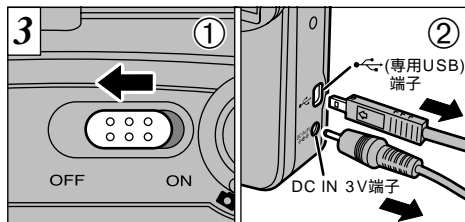
USB ディスク - ドライブ (G:) の停止

＊Windows Meの画面です。

❹“ ハードウェアの取り外し ”ダイアログが表示されますので、“ OK ”ボタンかクローズボタンをクリックしてください。

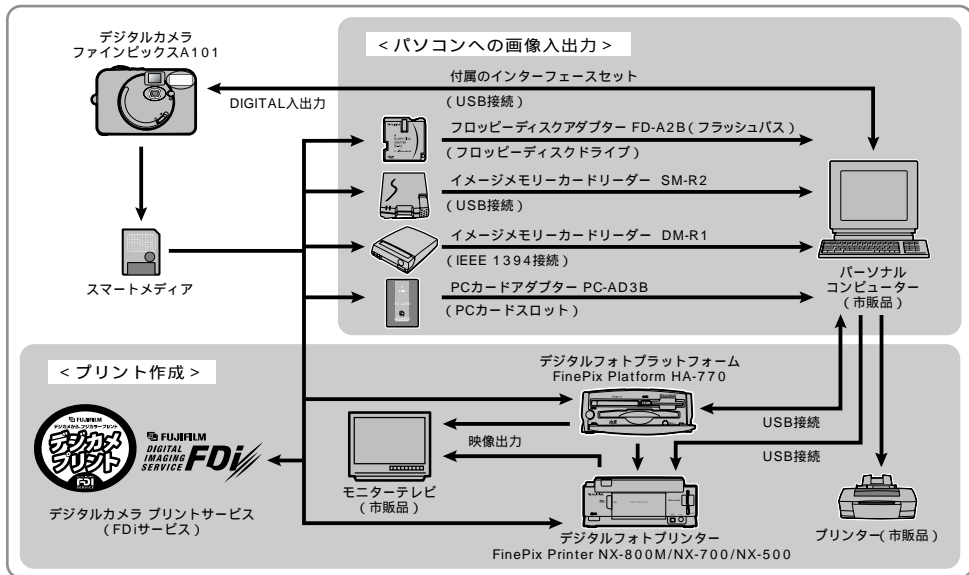
Macintosh

デスクトップの“ リムーバブルドライブ ”アイコンを、ゴミ箱にドラッグ&ドロップします。

❗ゴミ箱にドラッグ＆ドロップすると、カメラの液晶モニターに“ REMOVE OK ”と表示されます。

①カメラの電源を切ります。
②カメラから専用USBケーブルを取り外します。

6

システムアップ機器（別売）（平成13年11月現在）

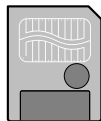
▶別売のフジフイルム製品と組み合わせることにより、様々な用途向けにシステムアップすることができます。

その他 別売アクセサリーの紹介（平成13年11月現在）

▶使いかたについては、お使いになるアクセサリーの「使用説明書」をご覧ください。
※価格はメーカー希望小売価格、消費税別です。

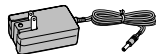
●イメージメモリーカード（スマートメディア™）

以下の種類がお使いいただけます。

- MG-4SB　：　4MB、3.3V仕様
- MG-8SB　：　8MB、3.3V仕様
- MG-16SB　：16MB、3.3V仕様
- MG-32SB　：32MB、3.3V仕様
- MG-16SW　：　16MB、3.3V仕様（ID付き）
- MG-32SW　：　32MB、3.3V仕様（ID付き）
- MG-64SW　：　64MB、3.3V仕様（ID付き）
- MG-128SW：128MB、3.3V仕様（ID付き）

＊3.3V仕様品の中には「3V」という表示のものがあります。

※すべてオープン価格

●ACパワーアダプター AC-3V

長時間の撮影・再生時、パソコンとの接続時にお使いください。

※4,000円

●単3形ニッケル水素電池「ニッケル水素1700」（HR-AA）

高容量の単3形ニッケル水素電池です。
2本パック「型名 HR-AA/2B」をお買い求めください。

※2本パック HR-AA/2B　1,100円

●ニッケル水素/ニカド急速充電器80（FNH）

ニッケル水素電池「ニッケル水素1700」2本を約90分間で充電できます。
同時に4本までのニッケル水素/ニカド電池の充電が可能です（日本国内使用専用）。

※4,500円

●ニッケル水素/ニカド急速充電器ワールドタイプ スリム（FNW）

ニッケル水素電池「ニッケル水素1700」2本を約115分で充電できます。
同時に4本までのニッケル水素/ニカド電池の充電が可能です（AC100V〜240V、50/60Hz対応）。

※4,500円

●ソフトケース SC-FXA01

ポリエステル製の専用ケースです。カメラを持ち運ぶときに、ゴミやほこり、軽い衝撃からカメラを保護します。

※2,000円

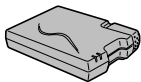
その他 別売アクセサリーの紹介 (平成13年11月現在)

●フロッピーディスクアダプター FD-A2B (FlashPath：フラッシュパス)

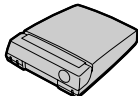
通常の3.5インチのフロッピーディスクと同じ形をしたアダプターです。
スマートメディアをフロッピーディスクアダプターに挿入し、フロッピーディスクドライブからスマートメディアの画像をパソコンに取り込むことができます。
●フロッピーディスクアダプター FD-A2対応OS
Windows 95/98/98 Second Edition/Me (DOS/V機)
Windows 95 4.00.950B OSR2以降/98/98 SE (NEC PC-9821シリーズ)
Mac OS 7.6.1〜9.1/Power Macintosh (読み込みのみ)

※12,000円

●イメージメモリーカードリーダー SM-R2

イメージメモリーカード (スマートメディア) からパソコンに、簡単に画像の読み出し、書き込みができます。USBインターフェースにより高速なファイル転送を行います。
●Windows 98 (Second Editionを含む)、Windows Me、Windows 2000 Professional
iMac、およびUSBインターフェースを標準装備するPower Macintosh、Mac OS 8.5〜9.1

※オープン価格

●イメージメモリーカードリーダー DM-R1

イメージメモリーカード [スマートメディア、コンパクトフラッシュタイプ Ⅱ (マイクロドライブ対応)] からパソコンに、簡単に画像の読み出し、書き込みができます。
IEEE1394インターフェースにより高速なファイル転送を行います。
●Windows 98 Second Edition、Windows 2000 Professional (読み出し専用)、
iMac DV、およびFireWireを標準装備するPower Macintosh、Mac OS 8.5.1〜9.1

※オープン価格

●PCカードアダプター PC-AD3B

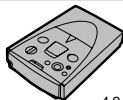
スマートメディアをPC Card Standard ATA (PCMCIA2.1) に準拠したPCカード (TYPE Ⅱ) として使えます。

※10,000円

●デジタルフォトプラットフォームHA-770

スマートメディア、PCカード、Zip 3スロット装備し、デジタルカメラ画像のアルバム編集、再生機能搭載。パソコン*、テレビ、プリンターに対応したマルチインターフェース。
＊パソコン接続はUSBインターフェース (対応OS：Windows 98 (Second Editionを含む) / Windows Me/Windows 2000 Professional、Mac OS 8.5.1〜9.1)

※49,800円

最新情報は富士フイルムホームページをご覧ください。 http://www.fujifilm.co.jp/

使用上のご注意

▶ご使用の前に、必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みの上、正しくご使用ください。

■避けて欲しい場所

次のような場所での本機の使用および保管は避けてください。

- ●雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- ●直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ。極端に寒いところ
- ●振動の激しいところ
- ●油煙や湯気の当たるところ
- ●強い磁場の発生するところ（モーター、トランス、磁石のそばなど）
- ●防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■冠水・浸水、砂かぶりにご注意

水や砂は本機の大敵です。海辺・水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本機を置かないでください。水や砂が本機の内部に入りますと、故障の原因となるばかりか、修理できなくなることもあります。

■結露（つゆつき）にご注意

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本機内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、スマートメディアに水滴がつくことがあります。このようなときはスマートメディアを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■長時間お使いにならないときは

本機を長時間お使いにならないときは、電池、スマートメディアを取り外して保管してください。

■カメラのお手入れ

- ●レンズ、液晶モニター表面やファインダーなどの汚れはブロアーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。それでも取れないときは、フジフイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽くふいてください。
- ●レンズ、液晶モニター表面やファインダーなどは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- ●カメラ本体は、乾いた柔らかい布などでふいてください。シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質・変形したり、塗料がはげるなどの原因となります。

■海外で使うとき

- ●このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障・不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社サービスステーションにご相談ください。
- ●海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因となることがあります。

電源についてのご注意

使用できる電池

- 本機には、単3形アルカリ乾電池や単3形ニッケル水素電池を使用してください。
  単3形マンガン乾電池や単3形リチウム電池は、電池の発熱などにより本機の故障や事故の原因になることがありますので使用しないでください。
- アルカリ乾電池は銘柄により寿命の差があり、本機に付属のアルカリ乾電池に比べ、電池寿命（使用時間）がかなり短い場合があります。

電池についてのご注意

電池の使いかたを誤ると、液もれ、発熱、発火、破裂の恐れがあります。以下の事項をお守りください。

- 火中に投入したり、加熱したりしないでください。
- プラス極とマイナス極を針金などの金属で接続したり、ネックレスやヘアピンなどの金属類と一緒に持ち運んだり保管しないでください。
- 水や海水につけたり、端子部分をぬらさないでください。
- 変形させたり、分解、改造をしないでください。
- 外装チューブをはがしたり、傷をつけないでください。
- 落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えないでください。
- 液もれしている、変形、変色、その他異常に気づいたときは使用しないでください。
- 高温、多湿の場所に保管しないでください。
- 幼児やお子様の手の届く範囲に放置しないでください。
- カメラに電池を入れるときは、極性（⊕と⊖）に注意して表示どおりに入れてください。
- 新しい電池と使用した電池（充電式電池の場合：充電済みの電池と、放電した電池）、あるいは種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間使用しないときは、電池を取り出しておいてください（電池を取り外して放置した場合、各種設定がクリアされます）。
- 使用直後の電池は高温になることがあります。電池の取り外しはカメラの電源を切り、電池の温度が下がるのを待ってから行ってください。
- 電池を交換するときは、2本すべてを新しい電池にお取り替えください。新しい電池とは、アルカリ乾電池では「最近購入した未使用のもの」、ニッケル水素電池では「最近同時にフル充電した電池」のことです。
- 寒冷地（＋１０℃以下）では電池の性能が低下し、使用可能時間が極端に短くなります。特にアルカリ乾電池はこの傾向がありますので、電池をポケットの中などで温めてからお使いください。また、カイロをお使いの場合は直接電池に触れないようにご注意ください。
- 電池の電極に皮脂などの汚れがあると撮影枚数が極端に少なくなることがあります。電池をセットする前に電極を乾いた柔らかい布で丁寧に清掃してください。

⚠ **万一、液もれが起こったときは、電池挿入部についた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。**

⚠ **電池の液が手や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。また、液が目に入った場合には失明の恐れがあります。こすらずに、きれいな水で洗ったあと、医師の診療を受けてください。**

■電池の破棄について

電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。

■小形充電式電池（ニッケル水素電池）についてのご注意

- 単3形ニッケル水素電池の充電は、専用の急速充電器（別売）を使用し、急速充電器の「使用説明書」の指示に従って正しく行ってください。
- 急速充電器（別売）では、指定外の電池を充電しないでください。
- 充電直後の電池は高温になっていることがありますので、ご注意ください。
- ニッケル水素電池は、出荷時には充電されていません。ご使用の前に必ず充電してください。
- カメラの機構上、電源を切っても微小電流が流れています。ニッケル水素電池を長期間カメラに入れたままにすると過放電状態になり、充電しても使えなくなることがありますので特にご注意ください。
- ニッケル水素電池は使わなくても自己放電しています。ご使用の前に必ず充電してください。また、正常に充電したにもかかわらず、使用できる時間が著しく短くなったときは、電池の寿命です。新しいものをお買い求めください。
- ニッケル水素電池の電極に、皮脂などの汚れがあると撮影枚数が極端に少なくなることがあります。この場合は、電極を乾いた柔らかい布で丁寧に清掃後、一度使い切ってから充電してください。
- お買上げ時や長い間使用していなかった電池は、十分に充電されないこと（電池残量警告がすぐに表示されて、撮影可能枚数が少ない場合）があります。これは電池の特性によるもので故障ではありません。充電して使用することを3〜4回繰り返すと正常な状態に戻ります。
- ニッケル水素電池の容量が残っている状態で充電を繰り返すと、「メモリー効果」＊が発生して早めに電池残量警告が出ることがあります。最後まで使いきってから充電することで正常な状態に戻ります。

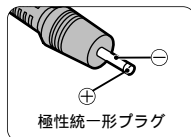
  ＊メモリー効果：電池の容量が見かけ上劣化したような特性を示す現象

■小形充電式電池のリサイクルについて

このマークは小形充電式電池（ニッケル水素電池など）のリサイクルマークです。小形充電式電池は埋蔵量の少ない高価な希少資源を使用していますが、これらの金属はリサイクルして再利用できます。

このようにリサイクルすることは、ゴミを減らし、環境を守ることにつながります。ご使用済みの小形充電式電池の廃棄に際しては、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープをはって、小形充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

電源についてのご注意

ACパワーアダプターについてのご注意

極性統一形プラグ

本機には、必ず専用のACパワーアダプターAC-3V（別売、JEITA規格・極性統一形プラグ付き）をお使いください。AC-3V以外のACパワーアダプターをお使いになると本機の故障の原因になることがあります。

- ACパワーアダプターの接点部には、他の金属が触れないようにしてください。ショートする危険があります。
- 電池動作中にACパワーアダプターを差し込まないでください。一度電源を切ってから差し込んでください。
- ACパワーアダプター動作中に電池を入れたり、交換したりしないでください。一度電源を切ってから行ってください。
- 電池がない状態でACパワーアダプターを抜くと、日時がクリアされる場合があります。その場合は、日時をセットし直してください。

スマートメディア™についてのご注意

■スマートメディアについて
デジタルカメラ用に開発された、新しい画像記録媒体SmartMedia（スマートメディア）です。スマートメディアの中には、半導体メモリー（NAND型フラッシュメモリー）が内蔵されており、このメモリーにデジタル化された画像ファイルが記録されます。
記録は電気的に行われますので、一度記録した画像ファイルを消去したり、再び記録することができます。

■ID付きスマートメディアについて
SmartMedia ID（ID付きSmartMedia）は、スマートメディア個々に（ID）番号を割り振ったもので、IDを利用した著作権保護、その他の仕組みを持つ機器で使用できます。本機では、従来のスマートメディアと同様に使用できます。

■ファイル保持について
以下の場合、記録したファイルが消滅（破壊）することがあります。記録したファイルの消滅（破壊）については、弊社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
＊お客様または第三者がスマートメディアの使いかたを誤ったとき
＊スマートメディアが静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき
＊スマートメディアに記録動作中・消去（フォーマット）動作中にスマートメディアを取り出したり機器の電源を切ったとき

大切なファイルは別のメディア（MOディスク、フロッピーディスク、ハードディスクなど）にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。

■取扱上のご注意
- スマートメディアをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- スマートメディアの記録中・消去（フォーマット）中は、絶対にスマートメディアを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。スマートメディアが破壊されることがあります。
- 指定された以外のスマートメディアはお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因となります。
- スマートメディアは精密電子機器です。曲げたり、強い力やショックを加えたり、落としたりしないでください。
- 強い静電気・電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用・保管は避けてください。
- 高温多湿の場所、または腐食性のある環境下でのご使用・保管は避けてください。
- スマートメディアの接触面（金色の部分）にゴミや異物がつかないように、また触らないようにご注意ください。汚れは乾いた柔らかい布などでふいてください。

スマートメディア™についてのご注意

●スマートメディアの持ち運びや保管時は、静電気による影響を避けるため、必ず専用の静電気防止ケースに入れてください。また、収納ケースがある場合は収納ケースに入れてください。
●静電気を帯びたスマートメディアをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
●ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
●長時間お使いになったあと、取り出したスマートメディアが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
●スマートメディアには寿命があり、長期間使用するうちに書き込みや消去ができなくなります。このときは新しいものをお買い求めください。
●インデックスエリアには、付属のインデックスラベルをはってください。市販のラベルなどは、はらないでください。スマートメディアの出し入れの際、故障の原因になります。
●インデックスラベルは、ライトプロテクトエリアに掛からないように、はってください。
●万一、弊社の製造上の原因による初期品質不良がありました場合には、同数の新しいスマートメディアとお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

■スマートメディアをパソコンで使用する場合のご注意

●パソコンで使用したあとのスマートメディアを使って撮影する場合、スマートメディアのフォーマットはカメラで行ってください。
●スマートメディアをカメラでフォーマットして撮影・記録すると、自動的にフォルダーが作成されます。画像ファイルは、このフォルダー内に記録されます。
●パソコンでスマートメディアのフォルダー名、ファイル名の変更・消去などの操作を行わないでください。スマートメディアがカメラで使用できなくなることがあります。
●スマートメディア上の画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
●画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーし、コピーした画像ファイルを編集してください。

主な仕様

形　式	デジタルカメラ用イメージメモリーカード SmartMedia（スマートメディア）
動作電圧	3.3V
使用条件	温度 0℃～＋40℃ 湿度 80%以下（結露しないこと）
外形寸法	37mm×45mm×0.76mm（幅/高さ/厚み）

警告表示

▶液晶モニターに表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処　　置
(赤点灯)　(赤点滅)	カメラの電池の容量が減っている、または少ない。	新しい電池を準備するか、交換してください。
!NO CARD	スマートメディアが入っていない、または5V仕様のスマートメディアが入っている。	スマートメディア(3.3V仕様)を正しい向きにセットしてください。
!CARD NOT INITIALIZED	●スマートメディアがフォーマット(初期化)されていない。 ●スマートメディアの接触面(金色の部分)が汚れている。 ●カメラが故障している。	●スマートメディアの接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでもERRORの場合はスマートメディアを交換してください。 ●弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
!CARD ERROR	●スマートメディアの接触面(金色の部分)が汚れている。 ●スマートメディアが壊れている。 ●スマートメディアのフォーマットが異常。 ●カメラが故障している。	●スマートメディアの接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでもERRORの場合はスマートメディアを交換してください。 ●弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
!CARD FULL	スマートメディアに空き容量がなく、これ以上記録できない。	画像を消去するか、空き容量のあるスマートメディアを使用してください。
!PROTECTED CARD	スマートメディアが誤記録防止状態になっている。	誤記録防止状態になっていないスマートメディアを使用してください。

警告表示

警告表示	警告内容	処　　置
！READ　ERROR	●正常に記録されていないファイルを再生した。 ●スマートメディアの接触面(金色の部分)が汚れている。 ●記録時間が20秒を超える動画を再生しようとした。	●再生することはできません。 ●スマートメディアの接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。 ●20秒以上の動画は再生できません。
！FILE　NO. FULL	コマNo.が999−9999に達している。	フォーマットしたスマートメディアに撮影してください。
！WRITE　ERROR	●スマートメディアと本体の接触異常またはスマートメディアの異常のため記録できない。 ●撮影した画像がスマートメディアの空き容量を超えて記録できない。	●スマートメディアを入れ直すか電源のON/OFFを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。 ●新しいスマートメディアを使用してください。
(手ブレ警告マーク)	シャッター速度が遅く、手ブレを発生しやすい状態。	ストロボ撮影する。ただし撮影シーンやモードによっては、三脚を使用してください。
！PROTECTED FRAME	プロテクトされているコマを消去しようとした。	プロテクトしたファイルは消去できません。プロテクトしたカメラでプロテクトを解除してください。
！DPOF	消去しようとした画像はプリント予約されている。	画像消去するにはプリント予約を“RESET”(なし)に設定してください(➡48ページ)。
！DPOF　FILE　ERROR	DPOFのコマ設定で1000コマ以上のプリント指定をした。	同一スマートメディア内でプリント指定できるコマ数は999コマまでです。

故障とお考えになる前に

▶故障と思う前に、もう一度お調べください。処理を行っても改善されない場合は弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。

症　状	原　因	処　置
電源が入らない。	●電池が消耗している。 ●ACパワーアダプターの電源プラグがコンセントから外れている。	●電池を交換する。 ●電源プラグをコンセントに差し込む。
電源が途中で切れる。	●電池が消耗している。	●電池を交換する。
電池の消耗が早い。	●温度が極端に低いところで使っている。 ●端子が汚れている。 ●電池の寿命。	●電池をポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付ける。 ●電池の端子部分を乾いたきれいな布でふく。 ●新しい電池と交換する。
シャッターボタンを押しても撮影できない。	●スマートメディアが入っていない。 ●スマートメディアに空き容量がなく、これ以上記録できない。 ●スマートメディアが誤記録防止状態になっている。 ●スマートメディアがフォーマットされていない。 ●スマートメディアの接触面（金色の部分）が汚れている。	●スマートメディアを入れる。 ●新しいスマートメディアを入れるか、不要なコマを消去する。 ●誤記録防止状態を解除する。 ●フォーマットする。 ●スマートメディアの接触面を乾いたきれいな布でふく。

故障とお考えになる前に

▶故障と思う前に、もう一度お調べください。処理を行っても改善されない場合は弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。

症　　状	原　　因	処　　置
シャッターボタンを押しても撮影できない。	●スマートメディアが壊れている。 ●パワーセーブになり、電源が切れた。 ●電池が消耗している。	●新しいスマートメディアを入れる。 ●電源を入れる。 ●新しい電池と交換する。
ストロボ撮影ができない。	●ストロボ発光禁止になっている。 ●ストロボ充電中にシャッターボタンを押した。 ●電池が消耗している。	●ストロボをオート、赤目軽減または強制発光にする。 ●充電が完了してからシャッターボタンを押す。 ●新しい電池と交換する。
ストロボが発光したのに撮影した画面が暗い。	●被写体が遠い。 ●ストロボ/ストロボ調光センサーに指が掛かっている。	●被写体に近づく。 ●カメラを正しく構える。
画像がぼやけている。	●レンズが汚れている。 ●マクロで遠景を撮影した。	●レンズを清掃する。 ●マクロを解除する。
画像に点状のノイズがある。	●気温が高い環境でスローシャッター（長時間露光）撮影した。	●CCDの特性によるもので故障ではありません。
スマートメディアのフォーマットができない。	●スマートメディアが誤記録防止状態になっている。	●誤記録防止状態を解除する（ライトプロテクトシールをはがす）。

<table>
<tr><th>症　　状</th><th>原　　因</th><th>処　　置</th></tr>
<tr><td>全コマの消去で、すべてのコマが消せない。</td><td rowspan="2">●プリント予約されている。
●コマがプロテクトされている。</td><td rowspan="2">●“プリント予約”を“RESET”(なし)に設定する(➡48ページ)。
●プロテクトしたカメラでプロテクトを解除する。</td></tr>
<tr><td>1コマ消去でコマが消せない。</td></tr>
<tr><td>カメラのモードレバーを操作しても作動しない。</td><td>●カメラの誤作動。
●電池が消耗している。</td><td>●電池・ACパワーアダプターをいったん取り外して、再び取り付け直してから操作する。
●新しい電池と交換する。</td></tr>
<tr><td>PC(パソコン)接続で、カメラの液晶モニターに撮影画面が表示される。</td><td>●PCまたはカメラに専用USBケーブルが正しく接続されていない。
●PCの電源が入っていない。</td><td>●正しく接続する。
●PCの電源を入れる。</td></tr>
<tr><td>カメラが正常に動作しなくなった。</td><td>●カメラが予期しない状態になっている。</td><td>●電池をいったん取り出して、再び取り付け直してから操作する。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。</td></tr>
</table>

主な仕様

システム

- **型式：**デジタルカメラ
- **記録メディア**
  スマートメディア（3.3V仕様）
- **記録方式**
  静止画：DCF準拠（Exif Ver.2.1 JPEG準拠）/DPOF対応
  動画：DCF準拠（AVI形式 Motion JPEG）
- **記録画素数**
  1280×960ピクセル/640×480ピクセル
- **有効画素数：**125万
- **撮像素子**
  1/2.7型正方画素原色インターラインン方式CCD
  総画素数：132万
- **撮像感度**
  ISO125相当
- **レンズ**
  フジノン単焦点レンズ
- **焦点距離**
  f=5.5mm（35mmカメラ換算 36mm相当）
- **ファインダー**
  逆ガリレオ式ファインダー、視野率：約80％
- **露出制御**
  TTL64分割測光、プログラムAE（マニュアル撮影時：露出補正可能）
- **ホワイトバランス**
  オート（マニュアル撮影時：7ポジション選択可能）

- **スマートメディア標準撮影枚数**
  撮影枚数は被写体により多少の増減があります。また、撮影枚数はスマートメディアの容量が大きくなるほど、標準撮影枚数との差が大きくなる場合があります。

ピクセル（記録画素数）	1M 1280×960（123万）			VGA 640×480（30.7万）	動　画
クオリティー	FINE	NORMAL	BASIC	NORMAL	―
画像1枚のファイルサイズ	約620KB	約320KB	約170KB	約130KB	―
MG-4S（4MB）	6	12	23	30	約 23秒
MG-8S（8MB）	12	25	46	61	約 47秒
MG-16S（16MB）	25	49	89	122	約 94秒
MG-32S（32MB）	50	99	180	247	約191秒
MG-64S（64MB）	101	198	361	497	約385秒
MG-128S（128MB）	204	398	725	997	約774秒

● **撮影可能範囲**
標準　：約80cm〜無限遠
マクロ：約8cm〜約13cm
● **シャッター速度**
可変速　1/2秒〜1/1000秒(メカニカルシャッター併用)
● **絞り**
F4.6/F9.5 自動切り換え
● **セルフタイマー**
タイマー時間　約10秒
● **消去方式**
1コマ消去・全コマ消去・フォーマット(初期化)
● **液晶モニター**
1.6型 5.5万画素 D-TFD
● **ストロボ**
調光センサーによるオートストロボ
撮影可能距離：約0.8m〜約3m
発光モード　：オート/赤目軽減/強制発光/発光禁止/
スローシンクロ

入・出力端子

● **(専用USB)端子**
パソコンへのファイルの転送

● **DCIN3V入力端子**
専用ACパワーアダプター AC-3V接続

電源部、その他

● **電源**
単3形アルカリ乾電池 2本使用
単3形ニッケル水素電池 2本使用(別売)
専用ACパワーアダプター AC-3V使用(別売)

● **電池作動可能枚数**(充電式電池はフル充電した場合)

電池の種類	液晶モニター ON状態	液晶モニター OFF状態
アルカリ乾電池 LR6	約80枚	約200枚
ニッケル水素電池 HR-AA ニッケル水素1700	約150枚	約300枚

常温でストロボ使用率50%の場合の、連続して撮影できる枚数の目安です。ただし、カメラの使用環境温度や電池充電量のバラツキによる変動はあります。低温時では作動可能枚数/時間が少なくなります。
● **使用条件**
温度0℃〜+40℃　湿度80%以下(結露しないこと)
● **本体外形寸法**
98.5mm×64.5mm×40.5mm(幅/高さ/奥行き)
(突起部含まず)
● **本体質量**
約145g(電池、スマートメディア含まず)
● **撮影時質量**
約200g(電池、スマートメディア含む)
● **付属品**
5ページをご参照ください。
● **別売アクセサリー**
63、64ページをご参照ください。

＊仕様・性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。
＊液晶モニターは非常に高精密度の技術で作られておりますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや、常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。

用語の解説

EV：露出を表す数値で、被写体の明るさとフィルムやCCDなどの感度によって決まります。被写体が明るければ数値は大きくなり、暗ければ数値は小さくなります。デジタルカメラは被写体の明るさの変化に対して、絞りやシャッター速度を調整することによりCCDに与える光量を一定にしています。
CCDに与えられる光量が2倍になるとEV値は＋1、半分になるとEV値は－1変化します。

Exif（イグジフ）ファイル形式：Exif（イグジフ）は、電子情報技術産業協会（JEITA）にて承認されたデジタルスチルカメラ用のフルカラー静止画像フォーマットです。TIFFやJPEGとの互換性があり、一般的な画像処理ソフトウェアで取り扱うことができます。サムネイル画像やカメラ情報の記録方法も規定されています。

JPEG（ジェイペグ）：Joint Photographic Experts Groupの略で、もとは画像圧縮の標準化を推進している組織の名称。そこで標準化したカラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式です。圧縮率が選択できますが、圧縮率が高くなるほど伸長（画像の復元）したときの画質は劣化します。

Motion JPEG（モーション ジェイペグ）：画像と音声の両方をひとつのファイルで扱うためのファイルフォーマット AVI（Audio Video Interleave）形式の1種類であり、ファイル内の画像はJPEG形式で記録されています。
パソコンでは下記のソフトで再生できます。
Windows：MediaPlayer　＊DirectX8.0以降必要
Macintosh：QuickTime Player　＊QuickTime3.0以降

ホワイトバランス：人間の目にはどんな照明のもとでも、白い被写体は白に見えるという順応性があります。これに対してデジタルカメラなどでは、被写体周辺の照明光の色に合わせて調整を行って初めて、白い被写体が白く撮影されます。この調整をホワイトバランスを合わせるといいます。ホワイトバランスを自動的に合わせる機能を**オートホワイトバランス**といいます。

アフターサービスについて

保証書

- 保証書はお買上げ店で所定事項の記入、および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買上げ日より1年間です。この期間は保証書の記載内容に基づいて無償修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

アフターサービス

■調子が悪いときはまずチェックを

本書の「故障とお考えになる前に」をご覧ください。
使いかたの問題か、故障か迷うときは、弊社DIサポートセンターへお問い合わせください。

■故障と思われるときは

弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。送付方法は、下記の中からお客様のご都合によりお選びください。
①お買上げ店にお持ちいただく
②弊社サービスステーションに宅配便等で送付いただく（送付修理）
③弊社サービスステーションにお持ちいただく（持込修理）
なお、集配ルートの都合上、①の方法よりは、②もしくは③の方法が、お預かりの期間は短くなります。
上記①③の場合の交通費、②の場合の送料などの諸費用はお客様にてご負担願います。

■修理ご依頼に際してのご注意

- 保証規定による修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または弊社サービスステーションにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。
- 修理品の持込修理/送付修理を弊社サービスステーションに依頼される場合には、次ページ「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。
- 修理箇所のご指定のないとき、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
- 修理料金のお見積もりをご希望の場合は、「修理依頼票」の「お見積もり」欄にご記入ください。ご指定のないときは、修理をすすめさせていただきます。
- 落下・衝撃、砂・泥かぶり、冠水・浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合は、修理をお断りする場合があります。

■修理部品の保有期間

本機の補修用部品は、製造打ち切り後8年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。

■交換した部品について

交換した部品は、今後の品質向上に役立てるため、弊社にて引き取らせていただいております。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

■修理料金の支払い方法について

①お買上げ店にお持ちいただいた場合
お持ちいただいたお店にご確認ください。
②弊社サービスステーションに宅配便等で送付いただいた場合（送付修理）
修理完了品は代金引換となりますので、運送業者に直接お支払いください。
③弊社サービスステーションにお持ちいただいた場合（持込修理）
修理完了品お引き取りの際、サービスステーション窓口でお支払いください。

■修理の受付は…

以下に送付修理・持込修理の受付場所を記載します。
修理品をお買上げ店へお持ちいただく場合よりもお預かりの期間は短くなります。

●【送付修理】：サービスステーションに直接ご送付いただく場合

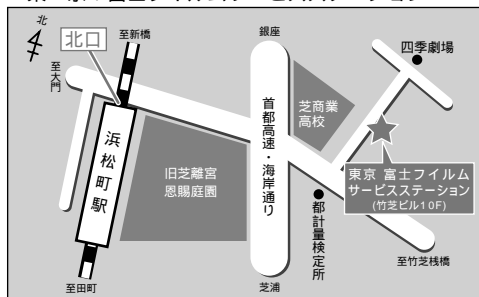
・下記の7カ所のサービスステーションで受け付けております。送付時には、お手数ですが「修理依頼票」を添付してください。
・有償修理の場合の修理料金は代金引換となりますので、運送業者に直接お支払いください。

東　京：富士フイルムサービスステーション	〒105-0022	東京都港区海岸1-9-15 竹芝ビル	TEL（03）3436-1315
札　幌：富士フイルムサービスステーション	〒060-0002	札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館	TEL（011）222-3973
仙　台：富士フイルムサービスステーション	〒980-0811	仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル	TEL（022）265-2149
名古屋：富士フイルムサービスステーション	〒460-0008	名古屋市中区栄1-12-19	TEL（052）202-1851
大　阪：富士フイルムサービスステーション	〒541-0051	大阪市中央区備後町3-2-8 大阪長谷ビル	TEL（06）6260-0915
広　島：富士フイルムサービスステーション	〒732-0816	広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター	TEL（082）256-3511
福　岡：富士フイルムサービスステーション	〒812-0018	福岡市博多区住吉3-1-1	TEL（092）281-4863

●【持込修理】：サービスステーションにお持ちいただく場合

・全国14カ所のサービスステーション・フォトサロンで受け付けております。お持ちいただく際には、お手数ですが「修理依頼票」を添付してください。
・【受付時間】月〜金　午前9：00〜12：00　午後1：00〜5：40
・サービスステーションは、土・日・祝日・年末年始は休業させていただきます。その他夏期など休業させていただく場合があります。
・有償修理の場合の修理料金は、修理品お引き取りの際、サービスステーション窓口でお支払いください。
・東京・札幌・仙台・名古屋・大阪・広島・福岡の7カ所のサービスステーション住所は、上記【送付修理】に記載のとおりです。
・本書に地図の記載がないサービスステーションは、弊社ホームページ（http://www.fujifilm.co.jp/）もしくはFinePixのホームページ（http://www.finepix.com/）をご覧ください。
・下記のサービスステーション・フォトサロンでは、修理品の受渡し業務のみを行っております。

新　潟：富士フイルムサービスステーション	〒951-8067	新潟市本町通7番町1153 本町通ビル	TEL（025）223-7731
金　沢：富士フイルムサービスステーション	〒920-0864	金沢市高岡町1-39 住友生命金沢高岡町ビル	TEL（076）263-3466
静　岡：富士フイルムサービスステーション	〒420-0859	静岡市栄町1-5 殖産ビル	TEL（054）255-2465
高　松：富士フイルムサービスステーション	〒760-0015	高松市紫雲町3-1 香西第2マンション	TEL（087）834-8355
鹿児島：富士フイルムサービスステーション	〒892-0838	鹿児島市新屋敷町16 公社ビル	TEL（099）226-2515
東　京：富士フォトサロン	〒104-0061	東京都中央区銀座5-1 銀座ファイブ	TEL（03）3571-9411
大　阪：富士フォトサロン	〒530-0001	大阪市北区梅田1-9-20 大阪マルビル	TEL（06）6346-0222

★東　京：富士フイルムサービスステーション

JR山手線浜松町駅北口下車　徒歩5分

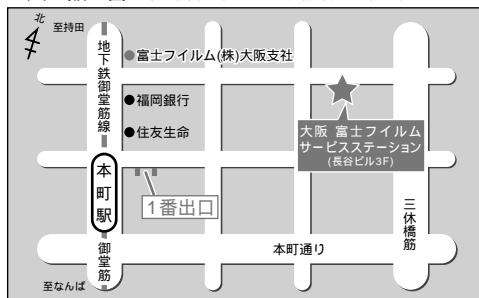
TEL（03）3436-1315

【受付時間】

月～金　午前 9：00～12：00　午後1：00～5：40

土　　　午前10：00～12：00　午後1：00～4：40

＊土曜日は修理品の受渡し業務のみ行っております。

★大　阪：富士フイルムサービスステーション

地下鉄御堂筋線本町駅1番出口下車　徒歩5分

TEL（06）6260-0915

【受付時間】月～金　午前9：00～12：00　午後1：00～5：40

★名古屋：富士フイルムサービスステーション

地下鉄東山線伏見駅6番出口下車　徒歩5分

TEL（052）202-1851

【受付時間】月～金　午前9：00～12：00　午後1：00～5：40

FUJIFILM

●本製品の機能、操作方法などに関するお問い合わせは…

富士フイルムDIサポートセンター

（月曜日～金曜日　午前9：30～午後5：00　祝祭日休み）

TEL（0424）81-1615
FAX（0424）81-0162

●本製品の関連情報は、下記のホームページをご覧ください。

http://www.fujifilm.co.jp/　または　http://www.finepix.com/

●修理の受付は…

本文中の「アフターサービスについて」をご覧ください。

●本製品についての上記以外のお問い合わせは…

営業所	住所	電話
富士フイルム札幌営業所	〒060-0002 札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館	TEL（011）218-5575
富士フイルム仙台営業所	〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル	TEL（022）216-6960
富士フイルム東京販売部	〒106-8620 東京都港区西麻布2-26-30	TEL（03）3406-2387
富士フイルム名古屋営業所	〒460-0008 名古屋市中区栄2-10-19 名古屋商工会議所ビル	TEL（052）203-5262
富士フイルム大阪支社	〒541-0051 大阪市中央区備後町3-5-11	TEL（06）6205-6421
富士フイルム広島営業所	〒732-0816 広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター	TEL（082）250-0755
富士フイルム福岡営業所	〒812-0018 福岡市博多区住吉3-1-1	TEL（092）281-0255

●富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター（月曜日～金曜日　午前9：30～午後5：00）TEL（03）3406-2982

この用紙は、再生紙を使用しています。

FGS-103110-FG